

Title	業績リスト(2003)
Author(s)	
Citation	大阪大学看護学雑誌. 2004, 10(1), p. 65-86
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/56813
rights	©大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

業績リスト(2003)

看護実践開発科学講座

I 論文

1. 学術論文

- 1) Asari S, Deguchi M, Tahara K, Taniike M, Toyokawa M, Nishi I, Watanabe M, Iwatani Y, Makimoto K. Seroprevalence survey of measles, rubella, varicella, and mumps in health care workers and evaluation of vaccination program in a tertiary care hospital in Japan. *Am J Inf Control* 2003 ; 31 : 157-62.
- 2) Sakihara K, Yorifuji S, Ihara A, Izumi H, Kono K, Takahashi Y, Inaoka H, Ogino S. Transcranial magnetic stimulation over the cerebellum evokes late potential in the soleus muscles. *Neuroscience Research* 2003;46: 257-262
- 3) 江川隆子、本田育美、紙野雪香、栗原宏子、荻野敏 糖尿病患者における味覚検査法 *Diabetes Journal* 2003年31巻3号27-30頁
- 4) 角谷千恵子、荻野敏、入船盛弘、竹田真理子、馬場謙治 アレルギー性鼻炎における医療経済学的研究(第1報) —スギ花粉症における支払意思とQOLの関連 *アレルギー* 2003年52巻7-14頁
- 5) 荻野敏、他48名 スギ花粉症患者における塩酸セチリジン初期投与の有用性(第2報) - QOLに対する効果 *耳鼻* 2003年49巻118-124頁
- 6) 山田英里、荻野敏 東洋医学的にみた大阪大学学生の健康状態 *大阪大学看護学雑誌* 2003年9巻9-16頁
- 7) 橋爪淳子、荻野敏 アトピー性皮膚炎の発症と出生時要因との関係 *大阪大学看護学雑誌* 2003年9巻17-22頁
- 8) 奥田稔、荻野敏、他13名 第1編 日本アレルギー性鼻炎 QOL 標準調査票(2002年度版) *アレルギー* 2003年52巻(補冊)21-56頁
- 9) 荻野敏、福録恵子、角谷千恵子 スギ花粉症患者における呼吸機能 *耳鼻* 2003年49巻441-444頁
- 10) 梁美和、中村正、西田誠、高橋雅彦、堀田紀久子、松澤佑次、奥宮暁子、恩田智彦、片嶋充弘、山口亨、楨和男、福原正樹、木村毅、野島潤一 腹部生体インピーダンス法による内臓脂肪量測定法の開発 *肥満研究* 2003年9巻2号32-38頁
- 11) 坪井良子、奥宮暁子、平尾真知子、石川ふみよ、佐藤公美子 GHQ 占領下におけるわが国の看護教育の成立過程—東京看護教育模範学院の成立と展開—*聖路加看護学会誌* 2003年7巻1号34-40頁
- 12) 藤崎郁 気管支喘息患者の諸体験とボディイメージに関する文献的考察 *日本保健医療行動科学会年報* 2003年18巻140-155頁
- 13) 藤崎郁 成人喘息患者の気管周囲の異和感とボディイメージ *日本保健医療行動科学会年報* 2003年18巻201-207頁

2. 会議録

- 1) Okumiya A, Nakamura T, Matsuzawa Y. Study on Obesity in Intellectual Disability Users of Welfare Facilities: From the Point of View of Life-related Disease. *Proceeding of 16th Asian Conference on Mental Retardation*, Tsukuba, Japan 2003;626-634
- 2) Kakutani C, Ogino S, Enomoto T, Wada. Levels of dust-mite allergens in the homes of patients with allergic rhinitis. *Proceeding of APCACI-WPAS2002* 2003; 169-172.
- 3) 荻野敏、角谷千恵子 Webサイトによる花粉情報提供とアクセス数および患者動態. *耳鼻免疫アレルギー* 2003年21巻56-57頁
- 4) 角谷千恵子、荻野敏 アレルギー性鼻炎における医療経済学的研究—スギ花粉症における支払意思とQOLの関連 *耳鼻免疫アレルギー* 2003年21巻70-71頁
- 5) 吹野陽香、荻野敏 スギ花粉大量飛散前後の特異的IgE抗体価の変動 *耳鼻免疫アレルギー* 2003年21巻192-193頁

3. 研究報告

- 1) 坪井良子、平尾真知子、奥宮暁子、石川ふみよ、佐藤公美子 占領期における日本の看護政策に関する基礎的研究 *文科省平成12～14年度基盤研究(C)(2) 課題番号12672266* 全189頁
- 2) 石川ふみよ、鈴木春海、奥宮暁子、阿部昌世 脳外傷者の看護介入法の開発に関する研究—家族の適応を促進するための介入—2002年度 *交通事故医療研究助成* 日本損害保険協会

4. 大学・研究所等の報告

5. 解説・総説

- 1) 荻野敏、有本啓恵 明日から使える漢方処方ガイド—based on evidence—耳鼻咽喉科 治療 2003年 85巻 135-139頁.
- 2) 荻野敏、福録恵子、入船盛弘 QOL による治療の評価 内科 2003年 91巻 314-319頁
- 3) 荻野敏、角谷千恵子 AIA患者における上気道ポリープの病態と発症機序 アレルギー科 2003年 15巻 45-49頁
- 4) 荻野敏 アレルギー性鼻炎の全人的治療をめざして—東西医学併用治療の立場から 日東医誌 (Kampo Med) 2003年 54巻 128-136頁
- 5) 荻野敏、岩田伸子、玉城晶子 花粉アレルギー 総合臨床 2003年 52巻 493-499頁
- 6) 荻野敏、角谷千恵子 花粉症に対する抗 IgE 抗体療法の現状 アレルギー科 2003年 15巻 128-132頁
- 7) 荻野敏、瀬尾律 鼻閉、鼻ポリープの患者への鎮痛剤投与は注意しなければならない 治療増刊号 2003年 83巻 1351-1353頁
- 8) 荻野敏 鼻アレルギーと咽喉頭アレルギー 気管支喘息の関係 MB. ENT 2003年 26巻 26-30頁
- 9) 荻野敏 アレルゲンを識る“昆虫” 鼻アレルギーフロンティア 2003年 3巻 38-43頁
- 10) 荻野敏 スギ花粉症に対する IgE 抗体(omalizumab)療法 アレルギー科 2003年 16巻 123-127頁
- 11) 荻野敏、入船盛弘、玉城晶子 生活習慣の変化は発症因子・増悪因子か Prog Med 2003年 23巻 3233-3236頁
- 12) 江川隆子 透析認定看護師教育の目指すもの 臨床透析 2003年 19巻 43-47頁
- 13) 江川隆子 看護診断分類のタクソノミーⅡは看護の体系を反映する 月刊ナーシング 2003年 29巻 7号 44-54頁
- 14) 奥宮暁子 展望：新しい ICF とリハビリテーション看護 看護展望 2003年 28巻 10号 1073頁
- 15) 牧本清子、井上智子、正木治恵、亀井智子、唐澤由美子、北山三津子、高田早苗、村本淳子、吉田千文 コンピュータアシステッド (CAI) による自己学習システム 特集 看護実践能力の到達度評価方法に関する検討 Quality Nursing 2003年 9巻 60-65頁
- 16) 牧本清子 アウトブレイクの防止に向けてどう動くか 看護展望 2003年 28巻 17-21頁

6. その他

II 著書

1. 一般著書

2. 専門著書

- 1) Ogino S, Takeda N, Harada T. Chapter 94, The effect of cetirizine prophylactic treatment on quality of life of the patients with Japanese-cedar pollinosis. In : Marone G, ed. Clinical Immunology and Allergy in Medicine. Naples: JGC Editions, 2003 : 633-638
- 2) 荻野敏、玉城晶子 新しい診断と治療の ABC12/免疫 2 アレルギー性鼻炎 アスピリン喘息 今野昭義編 2003年 103-108頁 最新医学社
- 3) 荻野敏 新しい診断と治療の ABC12/免疫 2 アレルギー性鼻炎新しい治療法(1)抗 IgE 抗体療法 今野昭義編 2003年 234-241頁 最新医学社
- 4) 荻野敏 「アレルギー疾患」専門医にきく最新の臨床薬物の気をつけるべき副作用 中川武正、片山一朗、岡本美孝編 2003年 118-120頁 中外医学社
- 5) 荻野敏 「アレルギー疾患」専門医にきく最新の臨床高齢者での薬物療法の注意点 - 耳鼻科の立場から 中川武正、片山一朗、岡本美孝編 2003年 131-132頁 中外医学社
- 6) 大坪みはる、江川隆子 ナーシングセレクションシリーズ リハビリテーション看護マニュアル 第3章 疾患・障害別リハビリテーション看護の実践 10: 腎不全 343-356頁 奥宮暁子、石川ふみよ監修 2003年 全 426頁 学研メディカル
- 7) 江川隆子、神谷千鶴、大徳真珠子 透析看護 第3章 患者および家族の理解のための理論 1: 国際生活機能分類 (ICF) について 163-166頁、6: 自己効力感の理解とその活用 189-194頁、III部: 事例のまとめ方 提出事例のまとめ方の提示 373-379頁 日本腎不全看護学会編集 2003年 全 386頁 医学書院
- 8) 江川隆子、本田育美、山本洋子 考える基礎看護技術 I (第2版) 第2章-6: 看護過程 65-83頁 第2章-8: ヘルスアセスメント 99-111頁 坪井良子、松田たみ子編集 2003年 全 198頁 ヌーベルヒロカラ
- 9) 奥宮暁子、宮腰由紀子、金城利雄編集 地域生活支援とリハビリテーション看護 リハビリテーション看護研究 6 2003年 全 110頁 医歯薬出版
- 10) 奥宮暁子 成人看護学 D リハビリテーション患者の看護(第2版) リハビリテーションの対象者の特徴 障害の概念 9-18頁、二次障害の予防 39-45頁 氏家幸子監修 2003年 廣川書店

- 11) 奥宮暁子 睡眠と健康 健康科学概論(第2版) 後閑容子、蝦名美智子、大西和子編 2003年108-120頁 ヌーベルヒロカワ
- 12) 奥宮暁子 第25章 吸入 考える看護技術Ⅱ(第2版) 坪井良子編 2003年489-504頁 ヌーベルヒロカワ
- 13) 奥宮暁子、井上智恵 第26章 吸引 考える看護技術Ⅱ(第2版) 坪井良子編 2003年505-520頁 ヌーベルヒロカワ
- 14) 宮腰由紀子、奥宮暁子 金城利雄編集 リハビリテーション看護と家族支援 リハビリテーション看護研究7 2003年全110頁 医歯薬出版
- 15) 奥宮暁子、石川ふみよ監修 ナーシングセレクションシリーズ リハビリテーション看護マニュアル 2003年全425頁 学研メディカル
- 16) 奥宮暁子 ナーシングセレクションシリーズ リハビリテーション看護マニュアル 第1章リハビリテーション看護の基礎概念 1:リハビリテーションの理念 2-7頁、2:リハビリテーションの体系 8-12頁、3:リハビリテーション看護 13-17頁、5:障害の構造 23-28頁、奥宮暁子、石川ふみよ監修 2003年全425頁 学研メディカル
- 17) 升谷英子、松崎礼子、高野幸子、池美保、西尾善子 舌切除をうける壮年期の舌がん男性患者の看護診断 看護診断の実際 第3版 松木光子編 2003年 南江堂(印刷中)
- 18) 升谷英子、福岡富子 インスリン導入となった2型糖尿病の老人女性の看護診断 看護診断の実際 第3版 松木光子編 2003年 南江堂(印刷中)

3. 教科書

- 1) 荻野敏 今日の耳鼻咽喉科頭頸部外科治療方針(第2版) 森山寛、岸本誠司、小林俊光、川内秀之編 2003年 医学書院

Ⅲ 招聘講演・シンポジウム等

1. 国際学会

2. 国内学会

- 1) 荻野敏 招聘講演 アレルギー性鼻炎の薬物療法—東西医学の融合 第1回東海耳鼻咽喉科漢方研究会. 2003年3月、名古屋市
- 2) 荻野敏 教育講演 花粉症患者の日常生活 尼崎市第3回市民健康フォーラム. 2003年3月、尼崎市
- 3) 荻野敏 イブニングシンポジウム 抗ヒスタミン薬の最前線 アレルギー性鼻炎と抗ヒスタミン薬—QOLの

視点から 第15回日本アレルギー学会春季臨床大会. 2003年5月、横浜市

- 4) 荻野敏 招聘講演 アレルギー性鼻炎の診断と治療 第16回北九州小児アレルギー懇話会. 2003年5月、北九州市
- 5) 荻野敏 教育講演 アレルギー性鼻炎・花粉症 第24回日本アレルギー学会認定医教育セミナー. 2003年8月、東京都
- 6) 荻野敏 招聘講演 アレルギー性鼻炎と抗ヒスタミン薬—QOLの視点から 第1回神経行動薬理シンポジウム:イブニングセミナー. 2003年9月、岡山市
- 7) 荻野敏 イブニングシンポジウム スギ花粉症と抗IgE抗体療法 6. IgEの基礎と臨床 第53回日本アレルギー学会総会. 2003年10月、岐阜市
- 8) 江川隆子 教育講演 看護診断分類法とアセスメントの視点 第9回日本看護診断学会学術大会. 2003年6月、福岡市
- 9) 藤崎郁 シンポジウム 対象者の心理社会的側面に関するアセスメント能力を訓練するために 第1回全国模擬患者学研究大会. 2003年10月、東京都
- 10) 江川隆子 教育講演 看護の質を高めるためのキーワード 第2回日本看護・社会・政策学会. 2003年3月、羽島市

Ⅳ 学会一般演題

1. 国際学会

- 1) Okumiya A, Nakamura T, Matsuzawa Y. Study on Obesity in Intellectual Disability Users of Welfare Facilities: From the Point of View of Life-related Disease, 16th Asian Conference on Mental Retardation, Aug. 2003, Tsukuba, Japan
- 2) Miyazaki Y, Okumiya A, Nakamura T, Matsuzawa Y. Prediction of Obesity, BMI and Blood Pressure in Down Syndrome, 16th Asian Conference on Mental Retardation, Aug. 2003, Tsukuba, Japan
- 3) Kanzaki H, Makimoto K. Coping in Rheumatoid Arthritis: State of the Art Review of Literature. The 6th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS), March 7-8, 2003, Awaji Hyogo, Japan
- 4) Tsuchida T, Makimoto K, Toki M, Sakai K, Ohtani Y, Onaka E. Innovative nursing interventions to reduce Blood Stream Infections in a Japanese co

- community hospital, 30th Associations for professionals in infection control and epidemiology meeting, June. 2003, Texas, USA
- 5) Tsuchida T, Makimoto K, Toki M, Yamasaki Y, Shimizu Z. Practical issues in surgical site infection surveillance conducted by clinical nurses, 2nd East Asian Conference on infection control and prevention, November. 2003, Seoul, Korea
 - 6) Ogino S, Nagakura T, Ishikawa T, Okubo K. A randomized double-blind placebo controlled study of omalizumab in patients with seasonal allergic rhinitis induced by Japanese cedar pollen, 22th Congress of the European Academy of Allergy and Clinical Immunology (EAACI 2003), June. 2003, Paris, France
 - 7) Ogino S, Takeda N, Harada T. The effect of cetirizine prophylactic treatment for quality of life of patients with Japanese cedar pollinosis - Analysis of summary score of SF-36, 22th Congress of the European Academy of Allergy and Clinical Immunology (EAACI 2003), June. 2003, Paris, France
 - 8) Kakutani C, Ogino S, Seo S, Takeda M. Willingness to pay and quality of life in patients with Japanese-cedar pollinosis, 22th Congress of the European Academy of Allergy and Clinical Immunology (EAACI 2003), June. 2003, Paris, France
 - 9) Fukuroku K, Nagano T, Ogino S. Change of QOL score (SF-36 Japanese version) in patients with atopic dermatitis according to medical treatment, World Allergy Organization Congress-18th ICACI, September. 2003, Vancouver, Canada
 - 10) Kakutani C, Ogino S, Tamaki A. Distribution of dog, cat and mite allergens in homes with and without pets, World Allergy Organization Congress-18th ICACI, September. 2003, Vancouver, Canada
 - 11) Okubo K, Ogino S, Nagakura T, Ishikawa T. Clinical efficacy and safety of omalizumab on seasonal allergic rhinitis (SAR) induced by Japanese cedar pollen in the second pollen season, World Allergy Organization Congress-18th ICACI, September. 2003, Vancouver, Canada
2. 国内学会
 - 1) 大徳真珠子、江川隆子、発表、看護のフットケア介入が 2 型糖尿病患者の足セルフケア行動に及ぼす成果 第 29 回日本看護研究学会学術集会. 2003 年 7 月、大阪市
 - 2) 大徳真珠子、江川隆子、発表、指導方法の違いによる 2 型糖尿病患者の足セルフケア行動に及ぼす影響 第 8 回日本糖尿病教育看護学会学術集会. 2003 年 9 月、新潟市
 - 3) 神谷千鶴、本田育美、新谷恵子、三島明子、江川隆子 外来血液透析患者の看護記録に関する実態調査 第 6 回日本腎不全看護学会. 2003 年 11 月、横浜市
 - 4) 神谷千鶴、本田育美、新谷恵子、三島明子 透析患者の「通院」に関する記録について 第 6 回日本腎不全看護学会. 2003 年 1 月、横浜市
 - 5) 荻野敏、角谷千恵子 Web サイトによる花粉飛散情報とアクセス数および患者動態 第 21 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会. 2003 年 2 月、鹿児島市
 - 6) 角谷千恵子、荻野敏 アレルギー性鼻炎における医療経済学的研究—スギ花粉症における支払意思と QOL 第 21 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会. 2003 年 2 月、鹿児島市
 - 7) 吹野陽香、荻野敏 スギ花粉大量飛散前後の特異的 IgE 抗体価の変動 第 21 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会. 2003 年 2 月、鹿児島市
 - 8) 北村嘉章、三好綾子、福井裕行、荻野敏、武田憲昭 鼻過敏症動物モデルにおける鼻粘膜ヒスタミン H1 受容体 mRNA 発現上昇とヒスタミン H1 受容体拮抗薬による抑制 第 21 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会. 2003 年 2 月、鹿児島市
 - 9) 荻野敏、原田保、入船盛弘、瀬尾律、馬場謙治、竹田真理子 スギ花粉症に対する塩酸セチリジン初期投与の有効性(第 3 報):SF-36 サマリスコアからの検討 第 15 回日本アレルギー学会春季臨床大会. 2003 年 5 月、横浜市
 - 10) 角谷千恵子、荻野敏、宮武明彦、谷口正実、三代康雄 気管支喘息患者における聴力障害 第 15 回日本アレルギー学会春季臨床大会. 2003 年 5 月、横浜市
 - 11) 竹田真理子、荻野敏、入船盛弘、馬場謙治、有本啓恵 スギ花粉大量飛散前後の特異的 IgE 抗体価の変動 第 15 回日本アレルギー学会春季臨床大会. 2003 年 5 月、横浜市
 - 12) 角谷千恵子、荻野敏、菊守寛 アレルギー性鼻炎にお

- ける医療経済学的研究—スギ花粉症における支払意思とQOLの関係 第15回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2003年5月、横浜市
- 13) 荻野敏、大久保公裕、永倉俊和、石川哮 季節性アレルギー性鼻炎に対するomalizumabのプラセボを対照とした二重盲検試験 第42回日本鼻科学会, 2003年10月、東京都
- 14) 北村嘉章、村田有希、荻野敏、福井裕行、武田憲昭 鼻過敏症ラットにおける鼻粘膜ヒスタミンH1受容体mRNA発現へのステロイドの効果 第42回日本鼻科学会, 2003年10月、東京都
- 15) 荻野敏、原田保、入船盛弘、瀬尾律、馬場謙治、竹田真理子 スギ花粉症に対する塩酸セチリジン初期投与の有効性(第4報):多段階別解析を用いた検討 第53回日本アレルギー学会総会, 2003年10月、岐阜市
- 16) 角谷千恵子、荻野敏 Webサイトによる花粉症情報提供:昨年との比較を中心に 第53回日本アレルギー学会総会, 2003年10月、岐阜市
- 17) 有本啓恵、東直人、片田圭宣、佐野由紀子、荻野敏 スギ・ヒノキ花粉数と受診患者の検討—アンケート調査から 第53回日本アレルギー学会総会, 2003年10月、岐阜市
- 18) 門田亜矢、荻野敏、菊守寛、馬場謙治、竹田真理子、有本啓恵 CAP-RASTによる抗原交差性の検討 第53回日本アレルギー学会総会, 2003年10月、岐阜市
- 19) 角谷千恵子、荻野敏、入船盛弘、菊守寛、瀬尾律、玉城晶子、池田浩巳、嶽良博、榎本雅夫 スギ花粉症におけるアウトカム研究(第1報) 第53回日本アレルギー学会総会, 2003年10月、岐阜市
- 20) 浦梨枝子、荻野敏、玉城晶子、岩田伸子 アレルギー性鼻炎におけるutility(効用):QOL(EQ5D)を用いた検討 第53回日本アレルギー学会総会, 2003年10月、岐阜市
- 21) 角谷千恵子、荻野敏、宮武明彦、谷口正実、三代康雄 気管支喘息患者における聴力障害(第2報) 第53回日本アレルギー学会総会, 2003年10月、岐阜市
- 22) 長田順平、丸山一伸、吉場暁子、角谷千恵子、和田昌子、宮脇貴子、中川智子、近藤幸子、金田重人、荻野敏 スギ花粉飛散量の変動に伴うスギ特異的IgE抗体価の年次変化 第24回日本臨床薬理学会, 2003年12月、横浜市
- 23) 中川智子、宮脇貴子、和田昌子、近藤幸子、長田順平、丸山一伸、金田重人、荻野敏 通年性アレルギー性鼻炎の診断における特異的IgE抗体価、誘発テスト、鼻汁中好酸球の関係について 第24回日本臨床薬理学会, 2003年12月、横浜市
- 24) 中平健太郎、奥宮暁子 男性看護師がおこなう看護業務に対する女性看護師の認識 第29回日本看護研究学会学術集会, 2003年7月、大阪
- 25) 鈴木晴海、石川ふみよ、奥宮暁子、川波公香 頭部外傷者の主介護者における精神健康度 第29回日本看護研究学会学術集会, 2003年7月、大阪
- 26) 井上智恵、紙野雪香、奥宮暁子 リハビリテーション看護技術演習に関する検討(1)—演習前後における看護学生の障害者イメージ— 第29回日本看護研究学会学術集会, 2003年7月、大阪市
- 27) 紙野雪香、井上智恵、奥宮暁子 リハビリテーション看護技術演習に関する検討(2)—演習後の自由記載を分析した結果から— 第29回日本看護研究学会学術集会, 2003年7月、大阪市
- 28) 佐藤公美子、坪井良子、奥宮暁子、平尾真知子、石川ふみよ 占領期におけるNursing Education Councilの審議内容の検討—第1回~第7回の議事録から— 日本看護科学学会, 2003年12月、三重
- 29) 恩田智彦、梁美和、前田和久、奥宮暁子、西田誠、中村正、松澤佑次 腹部生体インピーダンス法を用いた簡易な内臓脂肪量測定器の開発(3)測定原理の検証 日本肥満学会, 2003年11月、千葉
- 30) 梁美和、前田和久、中村正、奥宮暁子、西田誠、松澤佑次、恩田智彦 腹部生体インピーダンス法を用いた簡易な内臓脂肪量測定器の開発(4)誤差要因分析 日本肥満学会, 2003年11月、千葉
- 31) 山川みやえ、牧本清子 2型糖尿病患者のコーピングにおけるpositive effects ~質的デザインを用いた探索的研究~ 第29回日本看護研究学会学術集会, 2003年7月、大阪市
- 32) 藤崎郁、渡邊あゆみ、大塚尊子、中木高夫 看護師長のリーダーシップ尺度(短縮版) Nurse Manager Leadership Inventory-Short form (NMLI-17)の作成 第29回日本看護研究学会学術集会, 2003年7月、大阪市
- 33) 藤川直美、長谷川万佑子、升谷英子 舌がん手術患者の主観的な体験に関する研究(第1報) がんの脅威と舌への思い 日本研究学会学術集会, 2003年7月、大阪
- 34) 長谷川万佑子、藤川直美、升谷英子 舌がん手術患者の主観的な体験に関する研究(第2報) 自己の変化と他者の支援 日本研究学会学術集会, 2003年7月、大阪

生命育成看護科学講座

- 35) 石橋千夏、升谷英子 クロウン病長期療養患者の栄養管理に向かう認識 日本研究学会学術集会. 2003年7月、大阪
- 36) 服部希恵、川野雅資、臼井徳子、花田裕子、橋爪永子、國生拓子 M県下における児童青年精神病院利用者の統計的観察 第23回日本看護科学学会学術集会. 2003年12月、三重
- 37) 藤本幸三、大谷恵、川野雅資、北島謙吾、服部希恵、森千鶴、國生拓子 慢性期精神障害者の社会復帰を促進する看護教育者の役割に関する研究 第23回日本看護科学学会学術集会. 2003年12月、三重
- 38) 國生拓子、川野雅資、森千鶴 司法障害者の社会復帰促進に関する研究 第23回日本看護科学学会学術集会. 2003年12月
- 39) 高田洋介、三木充典、寺師榮、河村葉子 豊能医療圏における指令員教育の現状分析—救急救命士と指令員の認識調査から— 第5回日本救急看護学会. 2003年9月、京都市
- 40) 北畠由喜、刀谷峰子、三木充典、寺師榮、河村葉子、広常秀人 救命救急センターにおける看護師のストレス—Secondary Traumatic Stressに注目して—第5回日本救急看護学会. 2003年9月、京都市

V 受賞

- 1) 平成15年度北里大学若手研究者研究奨励者賞、藤崎郁、2003年5月、北里大学

VI 特許

VII 共同研究・外部資金

- 1) 糖尿病性神経・血管合併症に関する新しい看護診断指標の地域間較差の研究、江川隆子、荻野敏、奥宮暁子、宮川潤一郎、紙野雪香他、科学研究費補助金、基盤研究(B)、2001-2004年
- 2) 知的障害者福祉施設利用者の生活習慣病からみた肥満に関する研究、奥宮暁子、中村正、科学研究費助成金、平成14~15年度萌芽研究、課題番号14657652、2003年
- 3) ヒヤリ・ハットや医療事故データの報告もれの検証方法の開発、牧本清子、泉キヨ子、芦田信之、河村葉子、許田志津子、萌芽研究、2003年—2004年
- 4) 英語版と日本語版の院内感染アウトブレイク調査データベースの開発、牧本清子、芦田信之、関川暁、財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団、2003年

I 論文

1. 学術論文

- 1) Kurotobi S, Maekawa S, Hara T, Hamana K, Inada N, Kawakami N, Honda A, Matsuoka T, Hujita H, Nagai T. Serum KL-6 level in newborns with meconium aspiration syndrome. *Pediatrics International* 2003;45:517-521
- 2) Yoshida H, Soh H, Sando K, Wasa M, Takagi Y, Okada A. Beneficial effects of n-9 eicosatrienoic acid on experimental bowel lesions. *Surgery Today* 2003; 33:600-605
- 3) 宮内環、藤原千恵子、流郷千幸、高谷裕紀子 小児と関わる看護者のストレスとサポートに関する研究—中堅看護師の小児看護経験年数による職務ストレス サポート認知の差異— 第33回日本看護学会論文集—小児看護2002— 2002年62-64頁
- 4) 流郷千幸、藤原千恵子 幼児の採血場面について看護師が認識する援助内容とその影響要因 日本小児看護学会誌 2003年12巻1号16-22頁
- 5) 藤原千恵子 入院児の家族コーピングに関する研究—家族コーピング尺度の開発— 家族看護学研究 2003年9巻1号2-9頁
- 6) 石井京子、星和美、藤原千恵子、本田育美、石田宜子 中堅看護師の職務ストレス認知がうつ傾向に及ぼす要因分析に関する研究 日本看護研究学会雑誌 2003年26巻4号21-30頁
- 7) 仁尾かおり、藤原千恵子 先天性心疾患をもつ思春期の子どもの病気認知 小児保健研究 2003年62巻5号44-551頁
- 8) 寺田春郎、多屋馨子、宮川広実、天羽清子、指原淳志、砂川富正、三好洋子、山本よし子、馬場宏一、今井克美、永井利三郎、岡田伸太郎 けいれん性疾患児への予防接種 小児科臨床 2003年56巻6号1015-1023頁
- 9) 永井利三郎 【先生!ちょっと待って!日常臨床で陥りやすい落とし穴】 コミュニケーション 障害児(者)の保護者とのコミュニケーションでの“Do's & Don'ts”! 「親の気持ちはわかっているつもり」になっていませんか? 治療 2003年3月85巻 増刊号707-710頁
- 10) 永井利三郎 子育てにおける親の気持ちと支援 大阪大学看護学雑誌 2003年9巻1号1341-3112頁

- 11) 川上展弘、黒飛俊二、稲田菜穂子、本田敦子、松岡太郎、藤田博、原達幸、永井利三郎 完全房室ブロックによる心室停止を起こし緊急ペーシングにより救命しえた急性心筋炎の1例 日本小児科学会雑誌 2003年107巻3号 499-502頁
- 12) 永井利三郎 【けいれん,意識障害ハンドブック】 けいれんの診療 神経学的所見の取り方のポイント 小児内科 2003年35巻2号 144-146頁
- 13) 永井利三郎、高橋清子、田辺卓也、栗原まな、山本克哉、伊予田邦昭、松石豊次郎、栗屋豊、前川喜平 West症候群治療後の予防接種実施状況調査(第1報) 厚生労働省ハイリスク児のワクチン接種基準作成班 脳と発達 2003年5月35巻 Suppl. S297頁
- 14) 山藤加奈、鳥邊泰久、荒井洋、永井利三郎、田川哲三、今井克美、植田仁、鈴木保宏 15番染色体長腕欠失を伴ったAngelman症候群の臨床像と早期診断 脳と発達 2003年35巻 Suppl. S121頁
- 15) 永井利三郎、本田敦子、松岡太郎、前川周、滝沢祥子、稲田菜穂子、川上展弘、黒飛俊二、藤田博、原達幸 点頭てんかんと部分発作を合併した15番染色体近位部テトラソミーの1例と文献的考察 てんかん研究 2003年21巻1号 43頁
- 16) 永井利三郎、山本英彦、蔭山尚正、岡本伸彦、小林美智子、山野恒一 子どもの健康週間事業「小児虐待防止のためのシンポジウム」のアンケート結果と提言 日本小児科学会雑誌 2003年107巻2号 379頁
- 17) 牧一郎、永井利三郎、山本威久、松崎香士、植村隆、新宅治夫、西田勝 豊能二次医療圏における小児時間外救急患者の動態について 大阪医学 2003年36巻2号 127頁
- 18) 大橋一友、西村明子、中嶋有加里、山口雅子、炭原加代 講義による情報提供が看護大学生の生殖補助医療技術に対する意識に及ぼす影響 母性衛生 2003年44巻4号 466-471頁
2. 会議録
- 1) Iseki A, Ohashi K. CS AND BRAZILIAN PREGNANT. J Perinat Med 2003;31(suppl 1):195
- 2) 藤川よしの、中嶋有加里、寺元千賀、西村明子、山口雅子、炭原加代、大橋一友 マタニティライビングと臍帯巻絡の関連性についての検討 大阪母性衛生学会雑誌 2003年39巻12-15頁
- 3) 寺元千賀、中嶋有加里、藤川よしの、西村明子、山口雅子、炭原加代、大橋一友 妊婦の自動車運転が子宮収縮に及ぼす影響に関する研究(第5報) 一前方視的調査による切迫早産・早産率の検討 大阪母性衛生学会雑誌 2003年39巻16-21頁
- 4) 蔭山聡美、廣瀬由香、西村明子、炭原加代、大橋一友、中田貴美子、岩永千秋、伊藤公彦 母乳不足不安をもつ母親に対する祖母の影響 大阪母性衛生学会雑誌 2003年39巻46-48頁
- 5) 麻生栄美、多田羅智子、廣瀬由香、中嶋有加里、山口雅子、大橋一友、南川義夫、伊藤進一 妊婦の受動喫煙の実態調査 大阪母性衛生学会雑誌 2003年39巻91-92頁
- 6) 阿部祐子、山東勤弥、曹英樹、清水義之、内山里美、小田千華子、和佐勝史、高木洋治 当院における成人HPN患者の栄養摂取量の評価 栄養評価と治療 2003年20巻1号100項
- 7) 吹田摩耶、高木洋治:在宅栄養法の普及に関する看護師の意識調査 栄養評価と治療 2003年20巻1号102
- 8) 清水義之、山東勤弥、曹英樹、和佐勝史、阿部祐子、小田千華子、内山里美、高木洋治 骨髄幹細胞移植後に発症した移植片対宿主病に対しHPNを導入した1例 栄養評価と治療 2003年20巻1号109-110項
3. 研究報告
4. 大学・研究所等の報告
- 1) 藤原千恵子、高谷裕紀子、流郷千幸、宮内環、仁尾かおり 小児看護師の職務ストレスとサポートに関する研究-職務ストレスと状況要因 サポート認知 ストレス反応との関連- 大阪大学看護学雑誌 2003年9巻19号23-32頁
- 2) 川合早苗、西村路子、本多綾子、高谷裕紀子、流郷千幸、藤原千恵子、宮内環、北川智美、高城美圭、高城智圭 小児と関わる看護師のストレスとサポートに関する研究-職務ストレス認知とサポート反応の関連- 小児看護 2002年23巻13号1827-1832頁
- 3) 石倉武子、岸田泰子、矢田昭子、宮崎康二、山口雅子、科学研究費補助金(萌芽研究)研究成果報告書 少子高齢化社会における働く女性の育児支援に関する研究 2003年
- 4) 矢田昭子、岸田泰子、石倉武子、宮崎康二、山口雅子 看護職者の育児支援に関する研究 島根医科大学紀要 2002年25巻29-37頁
5. 解説・総説
- 1) 石井京子、星和美、藤原千恵子、本田育美、石田宜子 新人看護師に対する職務ストレス反応の要因分析-大

学などの教育機関の役割からー 大阪市立大学看護短期大学部講演・シンポジウム「将来の看護をみつめて」
2003年50-55頁

- 2) 高木洋治 微量元素 静脈経腸栄養 2003年18巻2号70-78頁
 - 3) 高木洋治、岡田正 周術期管理のトピックス輸液管理ー微量元素以上への対応を中心にー Medicament News 2003年1768号4-7頁
 - 4) 高木洋治 わが国における在宅栄養療法の現状と展望 日本消化器病学会雑誌 2003年100巻7号 819-828頁
 - 5) 高木洋治 妊娠時の栄養管理と生活習慣病(2) トピックス 微量元素 臨床栄養 2003年102巻4号 429-433頁
 - 6) 高木洋治 在宅栄養療法のFormula 臨床外科 2003年58巻5号643-650頁
 - 7) 高木洋治 在宅栄養療法 救急医学 2003年27巻2号163-169頁
 - 8) 高木洋治、岡田正 経静脈・経腸栄養患者の微量元素以上とその臨床の実際 日本医師会雑誌 2003年129巻5号625-630頁
 - 9) 高木洋治、長谷川利路、岡田正 小腸移植の適応(2) 腸管不全群 栄養評価と治療 2003年20巻1号35-41頁
 - 10) 高木洋治 輸液における栄養管理の実際 治療 2003年85巻2号 236-242頁
6. その他

II 著書

1. 一般著書
2. 専門著書
- 1) Nagai T, Honda A, Matsuoka T, Kawawaki H. Clinical characteristics of 15q proximal tetrasomy associated with infantile spasms. *Epilepsia*, 2003; 44: 168 (proceeding)
- 2) Imai K, Yanagihara K, Mano K, Nagai T, Yoshimine T, Ohzono K, Statistical analysis of epileptic spike. *Epilepsia*, 2003; 44: 180 (proceeding)
- 3) 藤原千恵子、高谷裕紀子 小児看護学における展開看護事故予防学 土屋八千代、山田静子、鈴木俊夫編著 2003年108-118頁 東京 中山書店
- 4) 藤原千恵子 病気によるストレス ウェルビーイングの発達学 祐宗省三編著 2003年24-27頁 京都 北大路書房
- 5) 高木洋治 静脈・経腸栄養 ミネラルの辞典 2003年

東京 朝倉書店

- 6) 高木洋治 高カロリーー輸液(完全静脈栄養)今日の治療指針 2003年 306-407頁 東京 医学書院
3. 教科書

III 招聘講演、シンポジウム

1. 国際学会
2. 国内学会
- 1) 藤原千恵子 シンポジウム 育児期の成人のストレス・コーピング 年齢発達とウェルビーイング 日本発達心理学会第14回大会. 2003年3月、神戸市

IV 学会の一般演題

1. 国際学会
- 1) Nagai T, Honda A, Matsuoka T, Kawawaki H. Clinical characteristics of 15q proximal tetrasomy associated with infantile spasms. 25th International Epilepsy Congress. October 12-16. 2003, Lisbon
- 2) Imai K, Yanagihara K, Mano T, Kamio N, Nagai T, Yoshimine T, Ohzono K. Statistical analysis of epileptic spike. 25th International Epilepsy Congress. October 12-16. 2003, Lisbon
- 3) Iseki A, Ohashi K. CS AND BRAZILIAN PREGNANT. The 6 World Congress of Perinata Medicine. September 13-16. 2003, Osaka, Japan
2. 国内学会
- 1) 石見和世、古賀智影、仁尾かおり、高谷裕紀子、彦惣美穂、林田麗、星和美、石井京子、河上智香、西村明子、藤原千恵子 看護師のキャリア認知に関する研究ー専門学校卒業看護師の属性との関連ー 第29回日本看護研究学会. 2003年、大阪
- 2) 河上智香、西村明子、藤原千恵子、石井京子、仁尾かおり、高谷裕紀子、星和美、林田麗、彦惣美穂、石見和世、古賀智影 看護師のキャリア認知に関する研究ー大学卒業中堅看護師の職務ストレスとの関連ー 第29回日本看護研究学会. 2003年、大阪
- 3) 仁尾かおり、石井京子、彦惣美穂、林田麗、星和美、高谷裕紀子、古賀智影、石見和世、河上智香、西村明子、藤原千恵子 看護師のキャリア認知に関する研究ー属性による差異ー 第29回日本看護研究学会. 2003年、大阪
- 4) 河上智香、西村明子、藤原千恵子、星和美、林田麗、彦惣美穂、石井京子、仁尾かおり、石見和世、古賀智

- 影、高谷裕紀子 看護系大学卒業看護師の属性によるキャリア認知の差異 第34回日本看護学会—総合看護—。2003年、長崎
- 5) 仁尾かおり、藤原千恵子 母親がとらえた先天性心疾患をもつ思春期の子どもの困難 第39回日本小児循環器学術集会抄録集。2003年、神戸
- 6) 河上智香、藤原千恵子、上野恵美子、谷口佳生理 4年制看護系大学の学生が持つ子どもイメージの構造 第34回日本看護学会—看護教育—。2003年、金沢
- 7) 林田麗、星和美、彦惣美穂、石井京子、仁尾かおり、石見和世、古賀智影、高谷裕紀子、河上智香、西村明子、藤原千恵子 看護経験3年未満の大学卒業看護師のキャリア認知と職務ストレスとの関係 第34回日本看護学会—看護教育—。2003年、金沢
- 8) 仁尾かおり、藤原千恵子 先天性心疾患をもつ思春期の子どもの母親の思いと配慮 日本小児看護学会 第13回学術集会。2003年、千葉
- 9) 石見和世、高田一美、文字智子、高谷裕紀子、仁尾かおり、河上智香、藤原千恵子 小児専門病院の看護師における職務ストレスに関する研究—状況要因による職務ストレスの差異—日本小児看護学会 第13回学術集会。2003年、千葉
- 10) 高田一美、文字智子、石見和世、高谷裕紀子、仁尾かおり、河上智香、藤原千恵子 小児専門病院の看護師におけるサポートに関する研究—状況要因によるサポート認知の差異— 日本小児看護学会 第13回学術集会。2003年、千葉
- 11) 仁尾かおり、藤原千恵子 先天性心疾患をもつ思春期の子どものコーピング 第34回日本看護学会—小児看護—。2003年、大津
- 12) 文字智子、高田一美、石見和世、仁尾かおり、高谷裕紀子、河上智香、藤原千恵子 小児専門病院における看護師の職務ストレス研究 第34回日本看護学会—小児看護—。2003年、大津
- 13) 藤原千恵子 入院中の病児家族コーピングに関する研究—疾患および入院期間による差異—第34回日本看護学会—小児看護—。2003年、大津
- 14) 藤原千恵子、彦惣美穂、林田麗、星和美、石井京子、仁尾かおり、石見和世、古賀智影、高谷裕紀子、河上智香、西村明子 短期大学卒業看護師のキャリア認知と属性との関連 第34回日本看護学会—看護管理—。2003年
- 15) 河上智香、藤原千恵子 入院児の家族コーピングに関する研究—アレルギー疾患による入院対象の特徴— 第23回日本看護科学学会学術集会。2003年、津
- 16) 永井利三郎、高橋清子、田辺卓也、栗原まな、山本克哉、伊予田邦昭、松石豊次郎、栗屋豊、前川喜平 West症候群治療後の予防接種実施状況調査(第1報)厚生労働省ハイリスク児のワクチン接種基準作成班 45回日本小児神経学会。2003年5月、福岡
- 17) 山藤加奈、鳥邊泰久、荒井洋、永井利三郎、田川哲三、今井克美、植田仁、鈴木保宏 15番染色体長腕欠失を伴ったAngelman症候群の臨床像と早期診断 第45回日本小児神経学会。2003年5月、福岡
- 18) 永井利三郎、山本英彦、蔭山尚正、岡本伸彦、小林美智子、山野恒一子どもの健康週間事業「小児虐待防止のためのシンポジウム」のアンケート結果と提言 第107回日本小児科学会。2003年3月、福岡
- 19) 守口絵里、永井利三郎 てんかんをもつ子どもとその家族に対する生活援助に関する検討 第37回日本てんかん学会。2003年11月、仙台
- 20) 三部有以、光田泰子、高橋清子、永井利三郎 家から病院への生活環境の変化に対するこどもの思い〜こどもと親へのプリパレーションの検討〜 第50回日本小児保健学会。2003年11月、鹿児島
- 21) 菅原厚史、宮田清香、高橋清子、永井利三郎 検査・処置における子どもと医療者のずれに対する看護師の対応 第50回日本小児保健学会。2003年11月、鹿児島
- 22) 廣瀬紀子、石川陽子、高橋清子、永井利三郎 小学校低学年の子どもを持つ保護者の生活習慣病に対する認識とその現状 第50回日本小児保健学会。2003年11月、鹿児島
- 23) 岡本伸彦、鈴木周平、鈴木典子、田中勝治、田中順子、富和清隆、永井利三郎、西田勝 自閉症児の診療に関する小児科医へのアンケート 第50回日本小児保健学会。2003年11月、鹿児島
- 24) 藤井加那子、永井利三郎、育児期における母親の子育て満足感—自己効力感との関連について—、第23回日本看護科学学会。2003年12月、津
- 25) 前田貴彦、杉本陽子、蝦名美智子、鈴木敦子、楢木野裕美、二宮啓子、赤川晴美、鎌田佳奈美、松森直美、高橋清子 子どもが採血・点滴を受ける心の準備をするための関わり 第23回日本看護科学学会。2003年12月、津
- 26) 杉本陽子、前田貴彦、蝦名美智子、鈴木敦子、楢木野裕美、二宮啓子、赤川晴美、鎌田佳奈美、松森直美、

- 高橋清子 子どもが採血・点滴を受ける心の準備をするための関わり-親が付き添うことについての医師・看護師・家族の考えと実際-第23回日本看護科学学会. 2003年12月、津
- 27) 前田貴彦、杉本陽子、蝦名美智子、鈴木敦子、榎木野裕美、二宮啓子、赤川晴美、鎌田佳奈美、松森直美、高橋清子 子どもが採血・点滴を受ける心の準備をするための関わり-導入の仕方についての医師・看護師・家族の実際と考え-第50回日本小児保健学会. 2003年11月、鹿児島
- 28) 江本リナ、飯村直子、筒井真優美、福地麻貴子、蝦名美智子、二宮啓子、松森直美、片田範子、勝田仁美、笹木忍、松林知美、小迫幸恵、中野綾美、鈴木敦子、榎木野裕美、高橋清子 「検査・処置を受ける子どもへの説明と納得」に関するケアモデルの実践と評価(その1)-検査・処置を受ける子どもと家族への説明に関する看護師の認識の変化-第13回日本小児看護学会. 2003年7月、千葉
- 29) 松森直美、二宮啓子、蝦名美智子、片田範子、勝田仁美、笹木忍、松林知美、小迫幸恵、中野綾美、筒井真優美、飯村直子、江本リナ、鈴木敦子、榎木野裕美、高橋清子、来生奈巳子、福地麻貴子 「検査・処置を受ける子どもへの説明と納得」に関するケアモデルの実践と評価(その2)-子どもの力を引き出す関わりと具体的な看護の技術について-第13回日本小児看護学会. 2003年7月、千葉
- 30) 高橋清子、榎木野裕美、鈴木敦子、蝦名美智子、二宮啓子、松森直美、片田範子、勝田仁美、松林知美、笹木忍、小迫幸恵、中野綾美、筒井真優美、飯村直子、江本リナ、来生奈巳子、福地麻貴子 「検査・処置を受ける子どもへの説明と納得」に関するケアモデルの実践と評価(その3)-看護師の親に対する認識と実践の変化とケアの広がり-第13回日本小児看護学会. 2003年7月、千葉
- 31) 笹木忍、勝田仁美、松林知美、中野綾美、来生奈巳子、小迫幸恵、片田範子、蝦名美智子、二宮啓子、松森直美、筒井真優美、飯村直子、江本リナ、鈴木敦子、榎木野裕美、高橋清子、福地麻貴子 「検査・処置を受ける子どもへの説明と納得」に関するケアモデルの実践と評価(その4)-病棟への波及効果-第13回日本小児看護学会. 2003年7月、千葉
- 32) 山口琴美、西村明子、大橋一友 5因子モデルを用いた喫煙状況別による看護学生の性格特性 第29回日本看護研究学会 2003年7月、大阪
- 33) 大橋一友 看護大学生に対する生殖補助医療技術(ART)に関する講義内容の検討とARTに対する知識と意識の調査 日本不妊学会. 2003年10月、東京
- 34) 久我原朋子、西村明子、中嶋有加里、炭原加代、大橋一友 初期妊婦のつわり症状とQOL 日本母性衛生学会. 2003年10月、宇都宮
- 35) 佐藤珠美、小林益江、大橋一友 地域に生活する更年期女性の更年期保健・医療サービスに対するニーズ 日本母性衛生学会. 2003年10月、宇都宮
- 36) 佐藤珠美、小林益江、大橋一友 地域に生活する更年期女性のQuality of Lifeに関する調査-WHO/QOL-26尺度によるQuality of Lifeの測定- 日本更年期学会. 2003年10月、東京
- 37) 井関敦子、内藤直子、大橋一友 帝王切開に対する認識の比較-在日ブラジル人妊婦と日本人妊婦の違い- 第4回香川母性衛生学会. 2003年11月、高松
- 38) 岸田泰子、矢田昭子、宮崎康二、山口雅子 看護職者の育児支援に関する研究-育児経験者と未経験者の育児観-第44回日本母性衛生学会. 2003年10月、宇都宮
- 39) 矢田昭子、岸田泰子、宮崎康二、山口雅子 看護職者の育児支援に関する研究-面接調査の結果より-第44回日本母性衛生学会. 2003年10月、宇都宮
- 40) 岸田泰子、矢田昭子、山口雅子 示説 看護職者の育児に関するニーズ-職場環境への期待- 第23回日本看護科学学会. 2003年12月、津
- 41) 矢田昭子、岸田泰子、山口雅子 示説 家庭をもつ中間管理者の職場と家庭における役割葛藤 第23回日本看護科学学会. 2003年12月、津
- 42) 西村明子、中嶋有加里、山口雅子、炭原加代、大橋一友 大学助産教育における分娩介助技術評価表の検討 第44回日本母性衛生学会. 2003年10月、宇都宮
- 43) 高木洋治 外科栄養における微量元素 第14回日本微量元素学会. 2003年7月、大阪
- 44) 池田大輔、西田誠司、菊池武夫、佐藤誠、高木洋治 市販製剤中のクロム含有量の測定 第14回日本微量元素学会. 2003年7月、大阪
- 45) 阿部祐子、山東勤弥、曹英樹、清水義之、内山里美、小田千華子、和佐勝史、高木洋治、岡田正 HPN外来における摂取調査と食事粗銅導入の試み 第18回日本静脈経腸栄養学会. 2003年2月、大阪
- 46) 清水義之、山東勤弥、曹英樹、和佐勝史、阿部祐子、小田千華子、内山里美、高木洋治 同時骨髄幹細胞移

- 植後発症した慢性腸管 GVHD に対し HPN 導入した 1 例
第 18 回日本静脈経腸栄養学会. 2003 年 2 月、大阪
- 47) 内山里美、山東勤弥、曹英樹、清水義之、阿部祐子、
小田千華子、和佐勝史、高木洋治 一柳真実、内山里
美、阿部祐子、和佐勝史、曹英樹、清水義之、山東勤
弥、高木洋治 幹細胞移植施行患者の移植前後におけ
る栄養状態の変動 第 18 回日本静脈経腸栄養学
会. 2003 年 2 月、大阪
- 48) 一柳真実、内山里美、阿部祐子、和佐勝史、曹英樹、
清水義之、山東勤弥、高木洋治 乳児短腸症候群にお
ける HPN の導入 第 18 回在宅静脈栄養 (HPN) 研究会
第 26 回在宅経腸栄養 (HEN) 研究会合同集会. 2003 年 10
月、大阪
- 49) 内山里美、清水義之、曹英樹、米田光宏、草深竹志、
和佐勝史、高木洋治、福澤正洋、原純一 集学的治療
後の接触不良に在宅静脈栄養を導入した固形腫瘍患者
の一例第 18 回在宅静脈栄養 (HPN) 研究会 第 26 回在
宅経腸栄養 (HEN) 研究会合同集会. 2003 年 10 月、大阪
- 50) 松下敦、山東勤弥、一柳真実、内山里美、福山一弘、
曹英樹、清水義之、和佐勝史、福澤正洋、高木洋治 在
宅中心静脈栄養患者への微量元素製剤長期投与時の血
中濃度の検討 第 18 回在宅静脈栄養 (HPN) 研究会 第
26 回在宅経腸栄養 (HEN) 研究会合同集会. 2003 年 10 月、
大阪
- 51) Hasegawa T, Sasaki T, Kimura T, Sando K, Wasa M, Takagi
Y, Okada A: Indication of isolated small bowel
transplantation for intestinal failure associated
Liver dysfunction. 第 40 回日本小児外科学会. 2003
年、京都

V 受賞

VI 特許

VII 共同研究・外部資金

- 1) 看護系大学卒業看護者のキャリア形成に関する探索的
研究、藤原千恵子 (代表)、星和美、石井京子、高谷裕
紀子、河上智香、西村明子、科学研究費補助金、萌芽
研究、2001-2003 年
- 2) 生涯発達過程で生じる危機に対する患者と家族のレジ
リエンスを高める支援システム研究、藤原千恵子 (代
表)、石井京子、吉川彰二、町浦美智子、大平光子、上
田恵子、河上智香、西村明子、科学研究費補助金、基
盤研究 B、2003-2005 年
- 3) 子どもの在宅ターミナルケア確立のためのプロトコ
ル作成に関する検討、河上智香、科学研究費補助金、
若手研究 (B)、2002-2003 年
- 4) 妊産婦の受動喫煙に対する禁煙プログラムの開発―尿
中コチニン測定と母子手帳を利用して―、大橋一友、
山口雅子、西村明子、科学研究費補助金、萌芽研究、
2003-2005 年
- 5) 先天性心疾患をもつ成人移行期の子どもの自己管理と
その影響因子に関する研究、高橋清子、科学研究費補
助金、若手研究 (B)、2003 年
- 6) 周産期ケアのデータベース化と情報開示に関する研究、
西村明子、科学研究費補助金、若手研究 (B)、2003-2004 年
- 7) 妊産婦のシートベルト着用率向上にむけた基礎的検討
と教育プログラムの作成、中嶋有加里、交通安全調査
研究振興助成、佐川交通社会財団、2003 年
- 8) 奨学寄附金、永井利三郎教授研究助成、藤沢薬品
- 9) 奨学寄附金、永井利三郎教授研究助成、大日本製薬
- 10) 奨学寄附金、大橋一友教授研究助成、大阪 HART クリニック
- 11) 奨学寄附金、高木洋治教授研究助成、扶桑薬品工業 (株)

総合ヘルスプロモーション科学講座

I 論文

1. 学術論文

- 1) Ogasawara C, Kume Y, Andoh M. Family Satisfaction
with Perception of and Barriers to Terminal Care in
Japan. *Oncology Nursing Forum* 2003; 30(5) : E100-105
- 2) Kinoshita K, Teshima T, Ohno Y, Inoue T, Yamashita
T, Hiraoka M, Mitsuhashi N, Sumi M, Japanese PCS
Working Group. Logical Checking Function Increases
the Accuracy of Data Entry in the Patterns of Care
Study. *Strahlentherapie und Onkologie*; 179: 107-112
- 3) Sugiyama H, Teshima T, Ohno Y, Inoue T, Takahashi
Y, Oshima A, Sumi M, Uno T, Ikeda H, The Japanese
PCS Working Subgroup For Lung Cancer. THE PATTERNS
OF CARE STUDY AND REGIONAL CANCER REGISTRY FOR
NON-SMALL-CELL LUNG CANCER IN JAPAN. *Int. J. Radiation
Oncology Biol. Phys* 2003; 56: 1005-1012
- 4) Hayakawa K, Nishida Wanamaker Y, Kato K, Onoi M.
Features of the Japanese Health Care System and Its
Impact on Nursing Practice Home Health Care Management &
Practice 2003 ; 15:500-504
- 5) Masuo K, Kawaguchi H, Mikami H, Ogihara T, Tuck ML. Serum
uric acid and plasma norepinephrine concentrations are

- predictors of weight gain, and blood pressure elevation. Hypertension 2003;42: 474-480
- 6) Takashima M, Shirai F, Sageshima M, Ikeda N, Okamoto Y, Dohi Y. Distinctive bacteria-binding property of cloth materials. Am. J. Infect. Control 2003; in press.
 - 7) Hayakawa K, in Nancy L. Segal Spotlights ;Research Samplings; Literature, Politics, Photography and Athletics. Twin Research 2003;6:72-81
 - 8) 新田紀枝、阿曾洋子、葉山有香、中平三枝子、沼波勢津子 化学療法を受けている患者の嘔気・嘔吐を軽減させる足浴後マッサージに関する研究 看護研究集録 10 2003年 105-115頁 木村看護教育振興財団
 - 9) 許翠萍、三上洋、伊藤美樹子、有馬志津子 中国における高齢者ケア体制の現状と課題 日本地域看護学会雑誌 2003年 6巻 71-78頁
 - 10) 早川和生 看護における学術集会の意義 看護研究 2003年 36巻 3-5頁
 - 11) 林知里、伊藤美樹子、早川和生 障害児の親の会(SHG)へのかかわり方にみた障害児の母親の心理的エンパワメント 日本健康教育学会誌 2003年 10巻 9-20頁
 - 12) 尾ノ井美由紀、斯琴、早川和生 在日中国人の身体的・精神的健康度と生活習慣 日本地域看護学会誌 2003年 5巻 70-78頁
 - 13) 加藤憲司、早川和生、尾ノ井美由紀、清水忠彦、由良品子、横山美江、金森雅夫 成人双生児における食品摂取及び食嗜好性に関する同胞間比較 日本公衆衛生雑誌 2003年 49巻 1217-1225頁
 - 14) 加藤憲司、早川和生 コミュニティ・ジェネティクスとパブリック・ヘルス 看護展望 2003年 28巻印刷中
- ## 2. 会議録
- 1) 早川和生 会長講演 ヒューマンポテンシャルへの畏敬 第29回日本看護研究学会学術集会抄録集 日本看護研究学会 2003年 26巻 62頁
- ## 3. 研究報告
- 1) 阿曾洋子、中村裕美子、矢野祐美子、高鳥毛敏雄、中西範幸、福田英輝、多田羅浩三 八尾市における寝たきり老人の実情Ⅱ—老人の友愛訪問による調査から—平成15年度八尾市高齢クラブ連合会 大阪府医師会大阪大学大学院医学系研究科社会環境医学報告書 2003年 1-72頁
 - 2) 大野ゆう子、安間明日香、村田加奈子、雑賀公美子、萩本明子 地域ぐるみのたばこ対策評価のためのモニタリング方法の検討—地域におけるたばこ対策とその評価に関する研究—厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「地域におけるたばこ対策とその評価に関する研究」(主任研究者 大島明) 平成14年度研究報告書 大野-1頁-大野15頁
 - 3) 大野ゆう子、中村隆、村田加奈子、安間明日香、雑賀公美子 AGE-PERIOD-COHORT モデルによる胃がん男性全国罹患率の解析および将来推計 厚生労働省がん研究助成金 地域がん登録の精度向上と活用に関する研究 平成14年度報告書 133頁-137頁
 - 4) 大野ゆう子、杉山裕美、笠原聡子、伊藤ゆり、蘇瑛、大島 明、津熊秀明、味木和喜子 生存率の推計方法の検討—大阪府地域がん登録胃がんデータによる—厚生労働省がん研究助成金 地域がん登録の精度向上と活用に関する研究 平成14年度報告書 138頁-143頁
 - 5) 大野ゆう子、杉山裕美、雑賀公美子、大島明、津熊秀明、味木和喜子 がんの治癒患者割合の推計に関する研究 厚生労働省がん研究助成金 地域がん登録の精度向上と活用に関する研究 平成14年度報告書 144頁-150頁
 - 6) 大野ゆう子、長谷川敏彦、柿川房子、(がんの社会学) 喉頭がん罹患者の療養支援シナリオの検討と需要推定方法に関する研究 厚生科学研究費補助金(21世紀型医療開拓推進研究事業)「短期(治療後5年以内)がん生存者を中心とした心のケア、医療相談等のあり方に関する調査研究」(班長 山口建) 平成13年度研究報告書
 - 7) 真田弘美、阿曾洋子、足立香代子、須釜淳子、田中マキ子、徳永恵子、廣瀬秀行、宮地良樹、森口隆彦 褥瘡ケアにおける看護技術の基準化とその経済評価(H13-長寿-020) 平成14年度 厚生科学研究費補助金長寿科学総括研究報告書 2003年 1-73頁
 - 8) 柿川房子、長谷川敏彦、大野ゆう子 がん生活障害と支援モデルの開発に関する研究 厚生科学研究費補助金(21世紀型医療開拓推進研究事業)「短期(治療後5年以内)がん生存者を中心とした心のケア、医療相談等のあり方に関する調査研究」(班長 山口建) 平成13年度研究報告書
 - 9) 長谷川敏彦、大野ゆう子、柿川房子 (がんの社会学) 21世紀の包括的がん施策における経済的視点の導入と計画立案指針 厚生科学研究費補助金(21世紀型医療開拓推進研究事業)「短期(治療後5年以内)がん生存者を中心とした心のケア、医療相談等のあり方に関する調査研究」(班長 山口建) 平成13年度研究報告書

- 10) Hayakawa K, Shimizu T, Kato K, Onoi M, Kobayashi Y
A Gerontological Cohort Study of Aged Twins: The
Osaka University Aged Twin Registry Twin Research
2003; 5: 387-388
- 11) 土肥義胤、白井文恵 衣服繊維素材への黄色ぶどう球菌及び緑膿菌の接着性について 乳酸菌研究会に関する報告書 2003年 384-390頁
- 12) 三上洋、有馬志津子、足立登志子、九津見雅美、杉浦圭子、仲下祐美子、谷川緑、山平優子 厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業「地域におけるたばこ対策とその評価に関する研究」(主任研究者 大阪府立成人病センター 大島明 調査部長) 分担研究平成14年度報告書「大学におけるたばこ対策とその評価に関する研究 - 保健医療系大学生の喫煙行動とたばこに対する態度に関する実態調査」2003年3月
- 13) 三上洋 5. 大学におけるたばこ対策の実施とその評価 厚生科学研究費補助金健康科学総合研究事業「地域におけるたばこ対策とその評価に関する研究」(主任研究者 大島明) 平成14年度総括・分担研究報告書 2003年3月1-17頁
- 14) 三上洋、伊藤美樹子、足立登志子、九津見雅美、杉浦圭子、仲下祐美子、谷川緑、山平優子 「平成14年 東大阪市居宅介護サービスの利用に関するアンケート調査」報告書 2003年3月
4. 大学・研究所等の報告
5. 解説・総説
- 1) 阿曾洋子 看護技術で学ぶこと クリニカルスタディ 24(8) 2003年 56-58頁メヂカルフレンド社
- 2) 阿曾洋子 褥瘡をめぐる社会的な問題点 新しい褥瘡予防と治療・ケアの実際 ライフ・サイエンス 2003年 23巻10号 99-102頁
- 3) 矢野祐美子 編入学を目指す人へ 2004年度全国助産師・保健師学校ガイド 2003年 14-17頁
- 4) 末澤廣子、新地敦彰、福岡富子、阿曾洋子 看護展望 28(5) 特定機能病院における「医療連携と継続看護」 2003年 68-78頁メヂカルフレンド社
- 5) 三上洋、荻原俊男 【高齢者高血圧の治療】高齢者高血圧の治療とQOL Geriatric Medicine 2003年 41巻 67-72頁
- 6) 三上洋、荻原俊男 State of the Art 老年者高血圧と認知機能 臨床高血圧 2003年 9巻 162-175頁
- 7) 三上洋 【医療経済から考える高血圧治療の現況と将来展望】 降圧薬療法におけるコンプライアンス—医

療経済との関連 血圧 2003年 10巻 5号 493-498頁

6. その他

II 著書

1. 一般著書

- 1) 阿曾洋子 褥瘡のトータルケア 褥瘡があるということは、療養生活が適切でないあかし 大浦武彦編 2003年 80-82頁 メディカルトリビューン
- 2) 阿曾洋子 NEB は臨床看護に役立つか 痴呆のある高齢患者への看護 日野原重明編 2003年 45-47頁 中山書店
- 3) 阿曾洋子 A. 成人看護学原論第2版 成人保健の動向、成人を対象とする医療活動 土居洋子、泉キヨ子編 2003年 2月 91-126頁 HIROKAWA PUBLISHING
- 4) 阿曾洋子 医学大辞典 伊藤正男、井村裕夫、高久史磨編 2003年 医学書院
- 5) 阿曾洋子 「高齢者は〇〇だ」ときめつけて対応してはいけない! 白浜雅司、今井裕一、大生定義編 治療 85 2003年 111-113頁 南山堂
- 6) 阿曾洋子 エビデンスに基づく褥瘡ケア 体圧分散 真田弘美、須釜淳子編 2003年 2-7頁 中山書店
- 7) 大野ゆう子 文部科学省著作高等学校職業教育教科書 「看護基礎医学1」; 「生活と健康」編 2003年 243-330頁 文部科学省
- 8) 大野ゆう子 文部科学省著作高等学校職業教育教科書 「看護基礎医学3」; 「保健医療と福祉」編 2003年 171-340頁 文部科学省
- 9) 大野ゆう子 文部科学省著作高等学校職業教育教科書 「基礎看護」; 「診療と看護」編 2003年 118-199頁 文部科学省

2. 専門著書

- 1) 三上洋 老年医学、Ⅲ. 看護・介護・福祉・リハビリテーション、5. 高齢者のQOL 荻原俊男編 2003年 319-323頁 朝倉書店
- 2) 早川和生 ふたごの子育て 武内美代子編 2003年 1月 朱鷺書房

3. 教科書

III 招聘講演・シンポジウム等

1. 国際学会

2. 国内学会

- 1) 阿曾洋子 セミナー 最新の褥瘡看護技術 第2回 HomeCare 日本縦断セミナー 褥瘡ゼロを目指して—褥

- 瘡対策未実施減算に対する対応一. 2003年2月、大阪市
- 2) 阿曾洋子 基調講演 エビデンスに基づく基礎看護教育の考え方 平成14年度専任教員等研修会. 2003年3月、三重県
 - 3) 阿曾洋子 教育講演 褥瘡ケアの実態と予防看護 第5回 日本褥瘡学会学術集会. 2003年8月、さいたま市
 - 4) 阿曾洋子 基調講演 質的研究 第44回日本手術看護学会大阪地区. 2003年11月、大阪市
 - 5) 村松静子、國井治子、濱口恵子、大島弓子、佐山静恵、阿曾洋子、本山裕子 パネルディスカッション 看護職の機能拡大は飛躍の起爆剤か、パンドラの箱か 第29回 日本看護研究学会学術集会. 2003年7月、大阪市
 - 6) 森田孝子、阿曾洋子 シンポジウム 看護技術教育一実践と基礎教育の接点を探る一 日本看護学教育学会第13回学術集会. 2003年8月、長野市
 - 7) 早川和生 会長講演 ヒューマンポテンシャルへの畏敬 第29回日本看護研究学会学術集会. 2003年7月、大阪市

IV 学会一般演題

1. 国際学会

- 1) Ohno Y, Nakamura T, Murata K, Saika K, Oshima A, Tsukuma H. FORECASTING THE JAPANESE STOMACH CANCER INCIDENCE RATES USING A BAYESIAN COHORT MODEL. 25th Annual Scientific Congress and Meeting of the International Association of Cancer Registries (IACR2003). June. 2003, Hawaii, U.S.A
- 2) Nitta N, Aso Y, Hayama Y, Nakahira M, Numanami S. Poster THE EFFECT RELAXATION BY FOOT MASSAGE COMBINED WITH FOOTBATH ON NAUSEA INDUCED BY CHEMOTHERAPY—ASSESSMENT OF HEART RATE VARIABILITY— Japanese Society of Cancer Nursing. 2003.
- 3) Sugiyama H, Ohno Y, Saika K, Ajiki W, Tsukuma H, Oshima A. PROPORTION OF CURED CANCER PATIENTS AND OBSERVATION TIME TO DISTINGUISH CURED/FATAL CASES IN OSAKA, JAPAN. 25th Annual Scientific Congress and Meeting of the International Association of Cancer Registries (IACR 2003). June. 2003, Hawaii, U.S.A
- 4) Numasaki H, Harauchi H, Ohno Y, Inamura K, Kasahara S, Ishii A, et al. The Construction of the Optimized Workflow Model at the Radiotherapy and the Surgical Ward. Radiological Society of North America 89th Scientific Assembly and Annual Meeting (RSNA2003). Nov-Dec. 2003, Chicago, U.S.A
- 5) Ito Y, Ohno Y, Kasahara S, Sugiyama H, Soda M, Suyama, A. THE ESTIMATION OF UP-TO-DATE SURVIVAL RATES FROM NAGASAKI CANCER REGISTRY IN JAPAN: USING THE PERIOD ANALYSIS AND THE TREND EXTRAPOLATION METHOD. 25th Annual Scientific Congress and Meeting of the International Association of Cancer Registries (IACR2003). June. 2003, Hawaii, U.S.A
- 6) Masuo K, Mikami H, Ogihara T, Tuck ML. Comparisons between genetic influence of hypertension and environmental factors on blood pressure levels. The American Society for Hypertension 16th Annual scientific Meeting, May 17. 2003, New York, NY, U.S.A.
- 7) Masuo K, Kawaguchi H, Mikami H, Ogihara T, Tuck ML. Nonobese subjects with elevated serum uric acid level have sympathetic overactivity and hyperinsulinemia. The Thirteenth European Meeting on Hypertension, June 13-16. 2003, Milan, Italy.
- 8) Masuo K, Kawaguchi H, Mikami H, Ogihara T, Tuck ML. A positive family history of hypertension and sympathetic overactivity are predictors of subsequent weight gain and blood pressure rise The Thirteenth European Meeting on Hypertension, June 13-16. 2003, Milan, Italy.
- 9) Masuo K, Mikami H, Ogihara T, Tuck ML. Who rebounds from achieving significant body weight loss? The Scientific Sessions, American Heart Association, November 9-12. 2003, Orlando, FL, U.S.A.
- 10) Ito M, Tabuchi S. People with handicapped siblings and their relationships involving their siblings, themselves and the outside world Qualitative Health research, February. 2003, Mexico
- 11) Ito M, Sekijima K, Kumagai T, Sakakibara K, Yamazaki Y, Matsumoto Y. Comparison of the seizure outcome of West syndrome between birth cohorts born in 1960's and 1990's, 25th International Epilepsy Congress, October. 2003, Lisbon, Portugal
- 12) Kumagai T, Ito M, Yamazaki Y, Sekijima K, Sakakibara K, Matsumoto Y. Life course of 218 patients with West syndrome in Japan 25th International Epilepsy Congress, October. 2003, Lisbon, Portugal

2. 国内学会

- 1) 久米弥寿子、小笠原知枝、高橋育代 ロールプレイング演習における看護学生の発話時間・発話内容と学生の不安度 第29回日本看護研究学会学術集会. 2003年7月、大阪市
- 2) 久米弥寿子 ロールプレイング演習における看護学生の発話内容と発話構造の特徴 第23回日本看護科学学会学術集会. 2003年12月、津市
- 3) 矢野祐美子、阿曾洋子 示説 看護師の在宅療養に対する意識調査と退院支援のあり方 第62回日本公衆衛生学会総会. 2003年10月、京都市
- 4) 新田紀枝、阿曾洋子、葉山有香、中平三枝子、沼波勢津子 示説 化学療法に伴う遷延性嘔気、嘔吐に対する足浴後マッサージの有効性 第17回日本がん看護学会学術集会. 2003年2月、大阪市
- 5) 片山由加里、小笠原知枝、辻ちえ、井村香積、永山弘子 看護師の感情労働尺度の開発 第29回日本看護研究学会学術集会. 2003年7月、大阪市
- 6) 宮嶋正子、阿曾洋子、矢野祐美子 示説 車椅子座面形状の違いが座圧分散力におよぼす影響—標準型とコンツア一型を比較して— 日本看護研究学会学術集会. 2003年7月、大阪市
- 7) 佐川節子、池田レミ、東照正、阿曾洋子、池永秀雄、森戸直美、西川俊秋 口演仙骨部組織血液量からみた褥瘡予防マットの評価—評価方法確立のための基礎研究— 第5回日本褥瘡学会学術集会. 2003年8月、さいたま市
- 8) 宮嶋正子、阿曾洋子、矢野祐美子 示説 車いす座面形状の違いが圧力分散と皮膚血流におよぼす影響 日本褥瘡学会学術集会. 2003年8月、さいたま市
- 9) 菅野夏子、阿曾洋子、矢野祐美子 示説 閉じこもり高齢者の発生率と身体精神的、心理・社会的、生活環境特徴の実態 第62回日本公衆衛生学会総会. 2003年11月、京都市
- 10) 片山由加里、小笠原知枝、久米弥寿子、高橋育代 看護師の感情労働モデルに関する要因 第23回日本看護科学学会学術集会. 2003年12月、津市
- 11) 大森淳子、新地教彰、末澤廣子、福岡富子、阿曾洋子 口演 病棟看護師の在宅療養に関する意識調査と退院計画の実際 第34回日本看護学会. 2003年10月、盛岡市
- 12) 菅野夏子、阿曾洋子、矢野祐美子、大巻悦子、小谷美保 示説 閉じこもり高齢者と非閉じこもり高齢者の身体精神的、心理・社会的および生活環境特徴の比較 日本老年看護学会第8回学術集会. 2003年11月、明石市
- 13) 佐川節子、池田レミ、東照正、阿曾洋子、池永秀雄、森戸直美、西川俊秋、柳田敏雄、精山明敏 口演 仰臥位時の仙骨部血液量からみた褥瘡予防マットの評価 第10回医用近赤外線分光法研究会. 2003年11月、福岡市
- 14) 葉山由香、新田紀枝、阿曾洋子、中平三枝子、沼波勢津子 足浴後マッサージがシスプラチン使用後の不快な症状に与える影響 第34回日本看護学会 成人看護Ⅱ. 2003年8月、和歌山市
- 15) 井村香積、小笠原知枝、片山由加里、永山弘子、辻ちえ 看護師の情動知能に基づくグループ凝集性とケアの質の関連性 第29回日本看護研究学会学術集会. 2003年7月、大阪市
- 16) 永山弘子、小笠原知枝、久米弥寿子、高橋育代、安藤昌代 末期乳がん患者の看護診断と看護介入 第17回日本がん看護学会学術集会. 2003年2月、大阪市
- 17) 辻ちえ、竹田千佐子、小笠原知枝、片山由加里、井村香積、永山弘子 中堅看護師の実践能力に関するプラトー要因 第29回日本看護研究学会学術集会. 2003年7月、大阪市
- 18) 石井豊恵、大野ゆう子、笠原聡子、原内一、稲邑清也、門田守人、左近賢人、藤本春美、森田輝代、飯沼正博、国府裕子、萩本明子 Time Study データを用いた看護業務のOverrunに関する検討—Multilevel AnalysisとMonte-Carlo法を用いて— 生体医工学シンポジウム 主催：日本エム・イー学会 関西支部. 2003年9月、北海道
- 19) 北村有子、大野ゆう子、久保武、井脇貴子、東村昌代、長谷川敏彦、柿川房子 「療養経過シナリオ」の有用性の検討—喉頭摘出と人工内耳の2疾患について— 第5回医療マネジメント学会. 2003年6月、仙台市
- 20) 中村亜紀、大野ゆう子、村田加奈子、杉山裕美、大江洋介 介護保険制度における在宅要介護者の機能訓練の効果について 第62回日本公衆衛生学会. 2003年10月、京都市
- 21) Numasaki H, Harauchi H, Ohno Y, Inamura K, Kasahara S, Monden M, Sakon M, Ishii A, Kitamura Y, Nakamura A, Kou H, Iinuma M. New classification of medical staff's job for the optimal reconstruction of the job workflow in a surgical ward; application of the

- spectrum analysis and the sequence relational analysis. 生体医工学シンポジウム 2003 主催：日本エム・イー学会 関西支部. 2003年9月、北海道
- 22) 横内光子、笠原聡子、大野ゆう子 小児事故に対する保護者のリスク認知と情報ニーズ 第62回日本公衆衛生学会. 2003年10月、京都市
- 23) 于力、大野ゆう子、笠原聡子、村田加奈子 歯科保健システムダイナミクスモデル 第62回日本公衆衛生学会. 2003年10月、京都市
- 24) 蘇瑛、大野ゆう子、杉山裕美、伊藤ゆり、笠原聡子、陶山昭彦、早田みどり Period Analysis を用いた生存率推計—長崎県がん登録胃がんデータから— 第62回日本公衆衛生学会. 2003年10月、京都市
- 25) 岩瀬裕三子、大野ゆう子、笠原聡子、中村亜紀 高齢者の生きがい支援策の現状と課題について—高齢者の就業に主眼をおいて— 第62回日本公衆衛生学会. 2003年10月、京都市
- 26) 上村真葵、大野ゆう子、笠原聡子、北村有子、石井豊恵、八尾正之、立花直子、大倉睦美、中村幸枝、小林万紗、鉤美砂、嶋本喬 高齢者の不眠の特徴—睡眠ドック受信者の症例を中心に— 第62回日本公衆衛生学会. 2003年10月、京都
- 27) 鉤美砂、大野ゆう子、笠原聡子、杉山裕美、村田加奈子、伊藤ゆり、八尾正之、立花直子、大倉睦美、上村真葵、小林万紗、中村幸枝、嶋本喬 ESSの意味するもの—睡眠時無呼吸症候群のデータ解析から— 第62回日本公衆衛生学会. 2003年10月、京都市
- 28) 小林万紗、大野ゆう子、笠原聡子、杉山裕美、雑賀公美子、萩本明子、八尾正之、立花直子、大倉睦美、鉤美砂、中村幸枝、上村真葵、嶋本喬 閉塞性睡眠時無呼吸症候群と肥満度についての検討 第62回日本公衆衛生学会. 2003年10月、京都市
- 29) 中村幸枝、大野ゆう子、笠原聡子、村田加奈子、北村有子、雑賀公美子、八尾正之、立花直子、大倉睦美、上村真葵、鉤美砂、小林万紗、嶋本喬 日本の中高年男性の睡眠パターン—睡眠負債と睡眠への満足度の観点から— 第62回日本公衆衛生学会. 2003年10月、京都市
- 30) 安間明日香、大野ゆう子、笠原聡子、村田加奈子、雑賀公美子、中村正和、大島明 システムダイナミクスを用いた肺がん自然史モデルの構築と1次予防、2次予防効果の検討 第62回日本公衆衛生学会. 2003年10月、京都市
- 31) 武田真希子、久米弥寿子 患者指導の場面におけるロールプレイングでの看護学生のコミュニケーション技法 第34回日本看護学会—看護教育. 2003年8月、金沢市
- 32) 川上有香、高橋育代、小野千尋、斎藤真利子、滝野明美、茶園美香 悪性骨軟部肉腫患者の情報に対する認識と行動に関する研究 第17回日本がん看護学会学術集会. 2003年2月、大阪市
- 33) 角紗綾果、早川和生、尾ノ井美由紀 女子高校生の口腔保健行動に心理社会的要因が及ぼす影響に関する検討 第29回日本看護研究学会学術集会. 2003年7月、大阪市
- 34) 九津見雅美、伊藤美樹子、三上洋 介護保険サービスの決定における要介護者の主体性に関連する要因の検討 第29回日本保健医療社会学会大会. 2003年5月、京都市
- 35) 許翠萍、伊藤美樹子、有馬志津子、三上洋 中国における地域老人看護の現状と課題 第6回日本地域看護学会. 2003年6月、横浜市
- 36) 九津見雅美、伊藤美樹子、三上洋 介護保険サービス決定における要介護者の主体性の検討 第45回日本老年医学会学術集会. 2003年6月、京都市
- 37) 足立登志子、杉浦圭子、九津見雅美、三上洋 関節リウマチ患者における笑いの経験と抑うつとの関連の検討 第29回日本看護研究学会学術集会. 2003年7月、大阪市
- 38) 杉浦圭子、足立登志子、九津見雅美、伊藤美樹子、三上洋 介護者の性別にみた在宅介護の現状 第29回日本看護研究学会学術集会. 2003年7月、大阪市
- 39) 九津見雅美、足立登志子、杉浦圭子、伊藤美樹子、三上洋 家族介護者の介護保険サービスの決定と情報探索行動との関係 第29回日本看護研究学会学術集会. 2003年7月、大阪市
- 40) 有馬志津子、谷川緑、山平優子、杉浦圭子、三上洋、足立登志子、仲下祐美子、九津見雅美 看護学生へのたばこ教育プログラム開発と評価(第1報)—プログラム開発と課題— 第62回日本公衆衛生学会総会. 2003年10月、京都市
- 41) 谷川緑、有馬志津子、山平優子、杉浦圭子、三上洋、足立登志子、仲下祐美子、九津見雅美 看護学生へのたばこ教育プログラム開発と評価(第2報)—実施前後、半年後の変化— 第62回日本公衆衛生学会総会. 2003年10月、京都市

- 42) 足立登志子、杉浦圭子、三上洋 在宅関節リウマチ患者の介護保険制度利用の状況と QOL に関する検討 第 62 回日本公衆衛生学会総会, 2003 年 10 月、京都市
- 43) 三上洋、九津見雅美、杉浦圭子、谷川緑、山平優子、小林京子、伊藤美樹子 介護保険サービス利用に関する 3 年間の実態調査 (第 1 報) —介護保険サービス利用状況—第 62 回日本公衆衛生学会総会, 2003 年 10 月、京都市
- 44) 九津見雅美、杉浦圭子、谷川緑、山平優子、小林京子、伊藤美樹子、三上洋 介護保険サービス利用に関する 3 年間の実態調査 (第 2 報) —利用者の意識や態度—第 62 回日本公衆衛生学会総会, 2003 年 10 月、京都市
- 45) 杉浦圭子、九津見雅美、谷川緑、山平優子、小林京子、伊藤美樹子、三上洋 介護保険サービス利用に関する 3 年間の実態調査 (第 3 報) —家族介護者の状況—第 62 回日本公衆衛生学会総会, 2003 年 10 月、京都市
- 46) 山平優子、杉浦圭子、九津見雅美、谷川緑、小林京子、伊藤美樹子、三上洋 介護保険サービス利用に関する 3 年間の実態調査 (第 4 報) —介護負担の経年的変化—第 62 回日本公衆衛生学会総会, 2003 年 10 月、京都市
- 47) 仲下祐美子、志村雅彦、撫井賀代、小西省三郎、三上洋 大阪市における肺結核患者の服薬状況とその関連要因の検討 第 62 回日本公衆衛生学会総会, 2003 年 10 月、京都市
- 48) 谷川緑、有馬志津子、三上洋 保健医療系学生のたばこに対する態度の変化 第 23 回日本看護科学学会学術集会, 2003 年 12 月、三重県津市
- 49) 有馬志津子、谷川緑、三上洋 看護学生に対するたばこ教育介入による有効性の検討 第 23 回日本看護科学学会学術集会, 2003 年 12 月、三重県津市
- 50) 白井文恵、池田七衣、土肥義胤 抗酸菌の末梢血単球内増殖に及ぼすサイトカインの影響 第 56 回日本細菌学会関西支部総会, 2003 年 11 月、奈良市
- 51) 池田七衣、白井文恵、土肥義胤 細菌の頭髮への接着と洗浄 第 56 回日本細菌学会関西支部総会, 2003 年 11 月、奈良市
- 52) 白井文恵、土肥義胤 活動性肺結核症患者の末梢血単球の殺菌能が低下している原因 第 29 回日本看護研究学会学術集会, 2003 年 7 月、大阪市
- 53) 白井文恵、高島真美、土肥義胤 セラチア菌の衣服素材、頭髮、テフロンへの接着性と陽イオン界面活性剤処理衣服素材の殺菌効果について 第 29 回日本看護研究学会学術集会, 2003 年 7 月、大阪市
- 54) 白井文恵、土肥義胤 細菌の頭髮への付着性について 第 29 回日本看護研究学会学術集会, 2003 年 7 月、大阪市
- 55) 下嶋真紀子、白井文恵、土肥義胤 活動性肺結核患者の末梢血単球の IFN- γ に対する応答性の低下 第 76 回日本細菌学会総会, 2003 年 4 月、熊本市
- 56) 白井文恵、高島真美、池田七衣、土肥義胤 活動性肺結核患者の末梢血単球の NO 産生能の低下 第 3 回日本感染看護学会学術集会, 2003 年 1 月、東京都
- 57) 高島真美、白井文恵、池田七衣、土肥義胤 セラチア菌の衣服繊維素材等への接着性について 第 3 回日本感染看護学会学術集会, 2003 年 1 月、東京都
- 58) 池田七衣、高島真美、白井文恵、土肥義胤 黄色ブドウ球菌及び緑膿菌の頭髮への付着性について 第 3 回日本感染看護学会学術集会, 2003 年 1 月、東京都
- 59) 伊藤美樹子 障害者のきょうだいの障害者観—障害者ときょうだいの関係から—第 23 回日本看護科学学会, 2003 年 12 月、三重県津市
- 60) 岡本薫、伊藤美樹子、早川和生 福井県における月別交通事故と気象の関連 第 62 回日本公衆衛生学会, 2003 年 10 月、京都市

V 受賞

- 1) 生体医工学シンポジウム 2003 ベストリサーチアワード、沼崎穂高、原内一、大野ゆう子、稲邑清也、笠原聡子、門田守人、左近賢人、石井豊恵、北村有子、中村亜紀、国府裕子、飯沼正博、平成 15 年 9 月、日本エム・イー学会
- 2) 25th Annual meeting of IACR Best Poster Award、杉山裕美、大野ゆう子、雑賀公美子、味木和喜子、津熊秀明、大島明、平成 15 年 6 月、国際がん登録学会

VI 特許

VII 共同研究・外部資金

- 1) 看護診断の正確性と看護ケアの質の評価に基づく教育プログラム、小笠原知枝 (代表)、久米弥寿子、高橋育代、矢野祐美子、山本裕子、岡崎寿美子、田邊美智子、長谷川智子、科学研究費補助金、基盤研究 C、2003 年
- 2) 看護技術提供時の動作分析による作業効率性の評価と看護経済性の指標の開発、阿曾洋子、科学研究費補助金、2003-2006 年
- 3) 褥瘡ケアにおける看護技術の基準化とその経済評価、阿曾洋子、金沢大学、厚生労働省長寿科学総合研究所

業、2002-2003年

- 4) エアマットの検証-褥瘡予防の観点から-、阿曾洋子、村中医療器株式会社
- 5) 業務量調査をもとにした21世紀型大学附属病院における運営評価方法の研究、大野ゆう子(代表)、科学研究費補助金、基盤研究B、2003年
- 6) 地域におけるたばこ対策とその評価に関する研究、大野ゆう子(分担研究者)、平成15年度厚生科学研究費補助金(健康科学総合研究事業)、2003年
- 7) 看護学生に対するコミュニケーション技術教育における面接プログラム学習法の開発、久米弥寿子、科学研究費補助金、若手研究B、2003年
- 8) 患者の看護必要度に応じた看護料設定のための基礎的研究、笠原聡子、科学研究費補助金、若手研究B、2003年
- 9) 悪性骨軟部肉腫患者の個別的ニーズに応える情報提供と情緒的サポート-情報ネットワークシステムを活用して-、高橋育代、科学研究費補助金、若手研究B、2003年
- 10) 大学におけるたばこ対策の実施とその評価に関する研究、三上洋(分担研究者、大島明班長)、平成15年度厚生科学研究費補助金(健康科学総合研究事業)「地域におけるたばこ対策とその評価に関する研究」、2003年
- 11) 結核菌症の病態解明に基づく新たな治療法等の開発に関する研究、土肥義胤、平成15年度厚生労働科学研究費補助金(新興・再興感染症研究事業)、2003年
- 12) 活動性肺結核症患者の末梢血単球のサイトカイン産生の特色、土肥義胤、平成15年度腸管微生物研究会研究助成金、2003年
- 13) 高齢者における結核再燃の実態調査及び再燃予防対策の検討、白井文恵、文部省科学研究費補助金、若手研究B、2002-2003年
- 14) 双子老人2,500組の比較から見た老化及び寿命に関する生活習慣・環境要因の研究、早川和生、三上洋、文部省科学研究費補助金、基盤研究B、2000-2003年
- 15) 乳幼児期におけるTwin-talk(宇宙語)現象の発生予防とファミリーケアの研究、早川和生、文部省科学研究費補助金、萌芽的研究、2002-2003年
- 16) 奨学寄付金、早川和生教授研究助成、関西看護ケア研究会、2003年4月

病院看護部

1. 論文(原著, 総説, 報告書等)

- 1) 田墨恵子、安藤昌代 ケーススタディ 手術により乳房を喪失した乳癌患者への看護 プチナース 2003年12巻3号51-54頁
- 2) 田中春美、長岡淳子、加賀七美、木村直美 助産師からみた陣痛(産痛)へのケア ペリネイタルケア 2003年22巻9号51-54頁
- 3) 長岡淳子、今田恭子、北村芳子、中島久美子 交差感染予防を目的とした哺乳瓶保温器の清潔維持方法の検証 大阪母性衛生学会雑誌 2003年39巻1号133-134頁
- 4) 河村有亜 ネグレクトを受けたハイリスク児および家族への援助と地域機関との連携 大阪母性衛生学会雑誌 2003年39巻1号88-90頁
- 5) 末澤廣子、新地敦彰、福岡富子、阿曾洋子 特定機能病院における「医療連携と継続看護」-地域医療機関のインターヘイスとしての保健医療福祉ネットワーク部の活動- 看護展望 2003年28巻4号68-78頁
- 6) 冠木雅子 特殊放射線検査・治療における実施登録による会計完全自動化への挑戦と残された課題 医療情報学 2003年22巻6号453-464頁
- 7) 岡本典子 京力深穂 八田かずよ 医療安全確保のための戦略~専任および現場のリスクマネジャーの役割~Emergency nursing 2003 2003年16巻10号28-34頁
- 8) 上田博美、ICHG研究会 特集 院内感染予防策 日本の常識・世界の非常識 CLINIC magazine 6月号 2003年23-29頁
- 9) 上田博美、鍋谷佳子 ICHG研究会臨床における基本的手技の実際 CLINIC magazine 12月号2003年19-27頁
- 10) 波多江新平、新井裕子、金沢美弥子、上田博美、小林信一、賀来満夫 感染予防対策「我が国の常識、世界の非常識」現代医療 2003年34巻11号32-42頁
- 11) 田墨恵子 セルフケア支援のABC「しびれ(感覚異常)のセルフケア支援」看護学雑誌 2003年67巻11号1084-1089頁

2. 単行本

- 1) 冠木雅子、郡清子 緊急事態対応シミュレーションの開発と実施 クリニカルリスクマネジメント ナーシングプラクティス 2003年135-143頁 文光堂
- 2) 大橋和香、宝満朝子、水谷綾子 手術編 総論 整形外科ナーシングプラクティス2003年118-128頁 文光堂
- 3) 大橋和香、宝満朝子、水谷綾子 手術編 各論 整形外科ナーシングプラクティス 2003年145-149頁 153-161頁 164-167頁 168-180頁 文光堂

- 4) 八田かずよ インシデントレポートの院内一元化とそのメリット他 クリニカルリスクマネジメント ナーシングプラクティス 2003年23頁 文光堂
- 5) 岡本典子 新しい経腸栄養システム クリニカルリスクマネジメント ナーシングプラクティス 2003年68-69頁 文光堂

3. 学会発表

- 1) 上田博美、新谷栄子、坂藤昌子、柴田政彦、井上隆弥、竹山栄子、真下節 慢性疼痛とチーム医療 看護師の立場と役割. 第32回日本慢性疼痛学会. 2003年
- 2) 上田博美、鍋谷佳子、森脇千賀子、杉本万代、里村節子 「院内感染の標準予防策推進・実施」 第3回日本感染看護学会学術集会. 2003年
- 3) 今川彰久、池上雅子、石田香織、宮川潤一郎、石井和子、松澤佑次 持続皮下インスリン注入療法(CSII)により良好な血糖コントロールを得た劇症1型糖尿病の1例 第37回糖尿病学の進歩. 2003年
- 4) 後藤美紀、大塚幸枝、嶋谷可愛、京力深穂、松嶋麻子、杉本壽、平出教 重症患者に対する経腸栄養中の電解質管理について 第7回CCM輸液・栄養研究会. 2003年
- 5) 島袋正恵、松尾美由紀、小川尚子、京力深穂 気管内吸引チューブ浸漬用消毒液使用後の微生物汚染の比較～ザルコニン®A液0.1(8%エタノール加0.1%塩化ベンザルコニウム)と塩化ベンザルコニウム(0.025w/v%ジアミトール®水)の比較. 第86回近畿救急医学研究会(看護部会). 2003年
- 6) 平出教、後藤美紀 経腸栄養剤のナトリウム含有量に関する研究 第18回日本静脈経腸栄養学会. 2003年
- 7) 世良奈津子 救急搬送された外傷患者の家族の心理過程—Hopkinsの危機モデルとの比較—. 第4回日本救急看護学会. 2003年
- 8) 姫野理恵、原田貴子、田代真紀、松本稔子、井口和江、前田正美 腎移植患者の個室隔離における病室環境改善への援助 第16回日本臨床腎移植学会. 2003年
- 9) 松前佐代子 血液腫瘍疾患患者の日常生活及び身体症状と不安・鬱状態からみた看護介入のあり方 第33回日本看護学会.(成人看護Ⅱ) 2003年
- 10) 三上智春、高野義子、三島陽子、京力深穂 頭部外傷患者の意識レベルとBSI値の関連について 第4回日本救急看護学会. 2003年
- 11) 上田千鈴、岩崎朋之、柿添真由美 小児に対するスキントラブルの観点からみたサージカルテープの適性の比較 第34回日本看護学会(小児看護). 2003年
- 12) 大森淳子、末澤廣子、浪下和子 在宅療養に向けての退院支援に関する病棟看護師の意識と実際 第34回日

本看護学会(地域看護). 2003年

- 13) 岡本佳苗、濱田真理子、藤原優子、古谷和子、藤澤智巳、池上博司、笠山宗正、宮川潤一郎、山崎義光、古田桂子 糖尿病患者における血糖自己測定器の選択支援に関する検討 日本糖尿病学会 第40回近畿地方会. 2003年
- 14) 小川尚子、洪淑姫、京力深穂 劇症肝炎発症患者の家族への援助の実際 第5回日本救急看護学会. 2003年
- 15) 片山圭子 統合失調症患者への服薬指導の看護介入～看護師による指導実施状況と認識調査から導いた服薬指導基準と介入方法の試作～ 第28回日本精神科看護学会. 2003年
- 16) 冠木雅子、池内友子 放射線部での緊急時対応シミュレーションの開発. 第5回医療マネジメント学会学術集会. 2003年
- 17) 冠木雅子、三村美智子、佐々木千枝 患者急変時、技師はどう対応するか—ACLSの手法を取り入れた放射線部合同シミュレーション— 全国放射線技師総合学術大会大阪大会. 2003年
- 18) 北島麻友子 消化器疾患患者の術後の褥瘡予防～褥瘡発生予測スケールによる褥創予防と実用性の検討～ 第5回日本褥瘡学会学術集会. 2003年
- 19) 北村有子、大野ゆう子、久保武、井脇貴子、東村昌代、長谷川敏彦、柿川房子 「療養経過シナリオ」の有用性の検討—喉頭摘出と人工内耳の2疾患について— 第5回医療マネジメント学会学術総会. 2003年
- 20) 木村澄子、上北純子、森山良子、柿添真由美、長谷川利路 生体肝移植後の患者の在宅における実態調査 第21回日本肝移植研究会. 2003年
- 21) 雲山由美子、須藤昌子、鹿島泰子 食道癌術後患者の早期離床への取り組み前後の比較～離床時間と患者の経過について～ 第30回日本集中治療医学会総会. 2003年
- 22) 後藤美紀 重症治療における経腸栄養の問題—食塩補充の検討— エスペン 2003年
- 23) 松下亨、南正人、北知子、小垣滋豊、市川肇、福嶋教偉、太田三徳、斉藤美紀子、大菌恵一、松田暉 肺移植の適応が検討された心疾患合併肺高血圧症患者について 第39回日本小児循環器学会学術集会. 2003年
- 24) 末澤廣子、大森淳子、新地敦彰、福岡富子、阿曾洋子 “病棟看護師の在宅療養に関する意識調査と退院計画の実際” 第34回日本看護学会.(看護管理) 2003年
- 25) 岩崎麻美、岩本佳子、坂上礼子、田村亜嘉利、牧村知美、三宅雅子、安田純子、田中詠子、岡村麻理、小林久子、有年真知子、竹安里香、豊岡慎子、秦亜紀、大西寿子、重松弘子、斎藤文子、山崎肇、笠原彰紀、佐

- 古田三郎 大阪大学医学部附属病院における逸脱原因の調査—医療機関の今後の課題— 第24回日本臨床薬理学会. 2003年
- 26) 田口恵子、藤川博子、清水三居里、水谷綾子、有馬美緒子、嶋田成美、秋吉愛子、中田精三、門田守人 多層構造ウレタンフォームマットの除圧効果による皮膚障害の予防をめざして 第17回日本手術医学看護学会. 2003年
- 27) 手塚泰世、嶋田成美、水谷綾子、有馬美緒子、中田精三、門田守人 硬膜外麻酔併用全身麻酔手術患者の体温低下予防の検証 第25回日本手術医学会. 2003年
- 28) 土志田智子 術後患者の離床を促進する看護介入の検討 第34回日本看護学会(成人看護I). 2003年
- 29) 渡口元子、大雲千春、椿山由美、伊藤憲子 生体肺移植を受けた児への退院に向けた看護師の役割—病院、家族、学校の連携— 第39回日本小児循環器学会学術集会. 2003年
- 30) 中川里恵、内園英子、河野総江 HLA 2座・3座ミスマッチ移植をうける患者の苦痛とその反応. 第26回日本造血細胞移植学会. 2003年
- 31) 中村美香、松本晴美、山下悦子 心臓弁膜症患者への退院指導の検討 第34回日本看護学会(成人看護II). 2003年
- 32) 能芝範子、須藤昌子、鹿島泰子、妙中信之、真下節 ICUにおける胸部大動脈人工血管置換術後患者に対する離床の進め方 第30回日本集中治療医学会総会. 2003年
- 33) 藤原靖子、古谷和子、古田桂子、岩橋博見、池上博司、笠山宗正、宮川潤一郎、山崎義光 糖尿病患者の食事療法に関する意識と感情負担度との関連. 日本糖尿病学会 第40回近畿地方会. 2003年
- 34) 松尾恵、柳川千里、武智久恵、萩原さがみ POMSを用いた心疾患患者の気分の調査 第51回日本心臓病学会学術集会. 2003年
- 35) 藤原優子 フットケア看護外来による糖尿病足病変の改善と患者行動変容 第18回日本糖尿病合併症学会学術集会. 2003年
- 36) 藤原優子 大阪大学医学部附属病院におけるフットケア外来 大阪糖尿病患者教育研修者集会. 2003年
- 37) 松本留美 婦人科病棟における術後肺梗塞発症につながる術前の生活習慣の分析 第15回大阪府看護研究学会. 2003年
- 38) 三島陽子、小佐々永子、京力深穂 初療待機中の家族援助にマニュアルを試みて 第88回近畿救急医学研究会. 2003年
- 39) 守口絵里、永井利三郎 てんかんをもつ子どもとその家族に対する生活援助に関する検討 第37回日本てんかん学会. 2003年
- 40) 長岡淳子、今田恭子、北村芳子、中島久美子 交差感染予防を目的とした哺乳瓶保温器の清潔維持方法の検証 第41回大阪母性衛生学会. 2003年
- 41) 河村有亜 ネグレクトを受けたハイリスク児および家族への援助と地域機関との連携 第41回大阪母性衛生学会. 2003年
- 42) 山口琴美、西村明子、大橋一友 5因子モデルを用いた喫煙状況別による看護学生の性格特性 第27回日本看護研究学会. 2003年
- 43) 保条麻紀、黒瀬泉、須崎峰子、中山サツキ、中島昌子、畠中美和子、早瀬麻子、森本美鶴 緊急母体搬送時の不安の実態調査 第44回日本母性衛生学会. 2003年
- 44) 中島昌子、黒瀬泉、須崎峰子、中山サツキ、畠中美和子、早瀬麻子、保条麻紀、森本美鶴 緊急母体搬送時の夫の不安の実態調査 第44回日本母性衛生学会. 2003年
- 45) 團寛子、浪下和子、坂藤昌子、前川哲、須藤昌子、木下直美、黒川みどり、伊藤憲子、田中公子、前田正美、谷浦葉子、峰孝子、中尾由紀子 部署毎の消防訓練取り組みへの働きかけによる効果 第2回大阪看護教育管理学会. 2003年
- 46) 濱田真理子 糖尿病患者における陰部搔痒感の発生状況と対処法の実態調査 平成14年度近畿地区看護研究学会. 2003年

院内：輪番制研究

- 1) 有田聡子、小川美穂、太田悦子 脳死下臓器移植手術を受けた患者のSF-36を用いた退院後のQOL調査(特殊診断治療部) 2003年
- 2) 渡邊友美、筒井幸子、尾崎由美 アズノール軟膏塗布による放射線治療中の皮膚炎予防への試み(放射線・RI・麻酔科) 2003年
- 3) 吉良香寿子、西道ひとみ、能勢法子 転倒・転落に対する患者の知識と認識の実態調査(乳腺内分泌外科) 2003年
- 4) 原田雅子、三好越子、池田優子、杉本方代 食道がん術後における集団食事指導の試み(消化器外科) 2003年
- 5) 鳥袋正恵、小川尚子、松尾美由紀、京力深穂 気管内吸引チューブ浸漬消毒液使用後の微生物汚染—80%エタノール添加0.1%塩化ベンザルニコニウムの使用経験—(高度救命救急センター) 2003年
- 6) 小巻正泰、山田淑子、斎藤恭子、植園法子 人工股関節全置換術後のシャワー浴開始時期の検討(小児外科) 2003年

- 7) 金山佳江、荒木恵里、高岡寿江、福田倫子 TAE、PAIT、RFA 治療を受ける肝細胞癌患者の入院中における不安の実態 (消化器内科) 2003 年
- 8) 岡本佳苗、濱田真理子、藤原優子、古谷和子、古田桂子 糖尿病患者における血糖自己測定器の選択に関する検討 (内分泌代謝・免疫アレルギー内科) 2003 年
- 9) 原麻衣子、黒瀬泉、村上聖女 当院の帝王切開後経膈分娩 (VBAC) における分娩所要時間と進行予測の検討 (分娩育児部) 2003 年
- 10) 片山圭子、今西祥子 精神科病棟における服薬自己管理に向けた個別指導の実施—独自に作成した看護師による服薬指導プログラムを用いて— (神経科精神科) 2003 年
- 11) 西山久美、児島真弓 持続的血液濾過透析療法 (CHDF) における濾過型人工腎臓補液 (サブラット®—BD) 使用時の回路内気泡発生量の検討 (集中治療部) 2003 年
- 2003 年
- 12) 梅田英子 小児がんを再発した子どもとその家族への援助～病名告知に関する母親の葛藤に焦点を当てて～ (小児科) 2003 年
- 13) 前田奈緒 肺がんで放射線治療を受ける患者の副作用の理解と医療者の対応について (呼吸器・老年高血圧内科) 2003 年
- 14) 笠野百合子 肺癌化学療法を受けた患者の感染予防に関する知識と行動の実態調査 (呼吸器・老年高血圧内科) 2003 年
- 15) 神田真澄 化学療法を受ける乳癌患者のためのパンフレットとダイアリーの作成～患者のセルフケア援助をめざして～ (乳腺内分泌外科・形成外科) 2003 年
- 16) 平木絵美子 思春期患児の不安に着目した看護展開 (小児外科) 2003 年
- 17) 原田貴子 タッチングが患者に与える心理的効果～不安の観点から～ (泌尿器科) 2003 年
- 18) 青山実生子 生命の危機的状況にありながらも入院治療を受け入れられない摂食障害患者に対する看護介入 (神経科・精神科) 2003 年
- 19) 三島陽子 初療待機中における家族援助～危機介入の手引き作成にあたって～ (高度救命救急センター) 2003 年
- 20) 小川尚子 危機状態で移植治療の選択をする患者・家族への介入の現状～山勢の危機モデルを用いた分析を試みて～ (高度救命救急センター) 2003 年
- 21) 三上智春 頭部外傷患者の BIS 値と意識レベルおよび危険行動を起こす時期の関連について (高度救命救急センター) 2003 年
- 22) 長谷川弘子 ICU における成人人体肝移植患者の急性期看護の実態 (集中治療部) 2003 年
- 23) 山田英里 救急看護師の救急蘇生に関する知識・技術の実態調査～ACLS コース導入前後の比較～ (高度救命救急センター) 2003 年
- 24) 平城やよい ICU における環境快適性の検討～ベッドサイドの環境測定および患者の心理調査から～ (集中治療部) 2003 年
- 25) 高木理恵 食事・運動療法が必要な慢性疾患患者の行動変容に向けて正木の看護過程の展開と看護ケアのポイントを活用して生活指導を振り返る (循環器・腎臓内科) 2003 年
- 26) 藤原靖子 糖尿病患者の糖尿病に関する感情負担度と食事療法の実際～PAID (糖尿病問題領域質問表) を用いて～ (内分泌代謝・免疫アレルギー内科) 2003 年

院内：3 年目研修における看護研究

- 1) 岡田留美 眼科手術を受ける患児への術前オリエンテーションにプリパレーションを導入して (眼科) 2003 年
- 2) 松本留美 婦人科病棟における術後肺梗塞発症につながる術前の日常生活習慣の分析 (産科・婦人科) 2003 年
- 3) 小澤絵里 乳癌広背筋皮弁術前後の患者のニーズの実態調査 (乳腺内分泌・形成外科) 2003 年
- 4) 土志田智子 術後患者の早期離床を進める看護的アプローチ方法の検討 (心臓血管・呼吸器外科) 2003 年
- 5) 高岸由恵 術後患者のバルーンカテーテル抜去時における膀胱訓練廃止の検討 (消化器外科) 2003 年
- 6) 北島麻友子 消化器疾患患者の術後の褥瘡予防～褥瘡発生予測スケールによる褥瘡予防と実用性の検討～ (消化器外科) 2003 年
- 7) 平田純子 ターミナル期患者に対する看護師の関わり～心理面に焦点を当てて～ (乳腺内分泌外科・形成外科) 2003 年
- 8) 安達延江 入院後告知を受けた白血病患者への看護介入について (血液腫瘍内科) 2003 年
- 9) 田代真紀 長期入院で化学療法をくりかえしている難治性精巣腫瘍患者の精神援助 (泌尿器科) 2003 年
- 10) 林みずほ スムーズな在宅療養に向けての看護～在宅療養を希望した末期癌患者の事例を振り返って～ (産科婦人科) 2003 年
- 11) 米田めぐみ 末期がんの夫を持つ妻への看護援助について～ゆらぐ家族のこころ～ (呼吸器・消化器外科)

- 27) 磯崎亮子 糖尿病患者の足の洗い方の実態調査～足の洗い方チェック表を用いた、看護師と糖尿病患者の足の洗い方の違い～ (内分泌代謝・免疫アレルギー内科) 2003年
- 28) 勝木亜希 当科レクリエーションによる患者の活動意欲向上の為の看護介入のあり方 (神経科精神科) 2003年
- 29) 上田千鈴 小児に対するスキントラブルの観点からみた外科用粘着テープの適性の比較 (小児外科) 2003年
- 30) 石墨真理 全身麻酔下の手術における上肢固定帯の改善～安全性の点から考える～ (手術部) 2003年
- 31) 手塚恭世 全身麻酔下婦人科開腹手術を受ける患者の末梢保温効果～ファーストマット® (ボアシーツ) 着用による～ (手術部) 2003年
- 32) 三浦早苗 神経内科脳卒中科における転倒の実態調査 (皮膚科神経内科脳卒中科) 2003年
- 33) 米田志帆 消化器内科病棟の検査・治療後に必要な安静保持を困難にする要因 (消化器内科) 2003年
- 34) 伊藤景子 術中に発生する手術用滅菌手袋破損の実態調査 (手術部) 2003年
- 35) 間宮良江 医師が看護記録を読む現状と背景 (循環器・腎臓内科) 2003年
- 36) 藤村紀子 在宅におけるインスリン自己注射時の針交換に関する実態調査 (内分泌代謝・免疫アレルギー内科) 2003年
- 37) 錦戸咲子 化学療法施行後の復学を円滑にするための援助のあり方～病院と学校、家庭の連携～ (小児科) 2003年
- 38) 大森淳子 保健医療福祉ネットワーク部開設後における病棟看護師の在宅療養に関する意識変化と退院調整の実態調査 (脳神経外科) 2003年